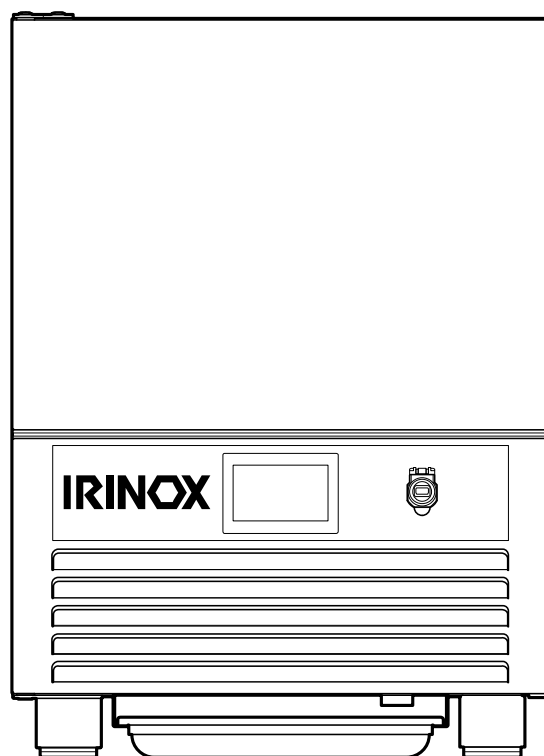


ブラストチラー&ショックフリーザー
EF NEXTR XS（業務用）

IRiNOX[®]

取扱説明書



このたびは、当社のブラストチラー&フリーザー（EF NEXTR XS）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

据付説明付

目 次

安全上のご注意	1～7
各部の名称	8～10
本体	8・9
操作パネル部	10
操作手順	11～30
電源を入れる	11
標準サイクルについて	12・13
食材を「自動」で冷却または冷凍する （芯温プローブを使う）	14～18
食材を「マニュアル」で冷却または冷凍する （芯温プローブを使わない）	19～23
庫内への食材の入れかた	24・25
サイクルの編集と保存	26・27
ライブラリー画面のサイクルを削除する ...	28
その他の機能	29～36
「デフロスト」（霜取り）	29・30
「ノンストップ」（連続）	31～33
「保持」（保存のみ）	34～36
HACCPデータにサイクルの詳細を設定する	37・38
お手入れ	39～45
毎日のお手入れ	39～43
週に1回のお手入れ	44・45
各設定値を変更する	46～61
設定項目	46～49
日付と時間の設定	50・51
ディスプレイと音の設定	52・53
ロック機能の設定	54・55
サイクルのバックアップとインストール	56・57
HACCP機能	58～61
アラームコード	62～64
アラームコードについて	62・63
アラームコードの履歴表示の確認	64



据え付けについて	65～69
据付前の準備	65・66
据付け	66
庫内の排水について	67・68
据付後の動作確認	69
仕様	72
付属品	72
保証書(別添付)について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間	73

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はアース端子に接続してください。
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

本機の冷媒回路に損傷を与えないこと

誤って冷媒回路を損傷させた場合は、本機を使用せずに、速やかにお買上げ店にご連絡ください。
そのまま使用されますと事故の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

庫内以外には直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的にコンセントから電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグ抜く

異常時は、『停止』アイコンをタップして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに窓をあけて換気すること

電源プラグ使用の場合、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



禁止

庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転しないこと

庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。



素手禁止

冷凍のサイクル完了直後の食材が入ったホテルパンは、素手で持たないこと

冷凍のサイクル完了直後の食材が入ったホテルパンは、素手で持ちますと低温やけどの原因になります。



注意

芯温プローブの先端は尖っているため、取り扱いに注意すること

芯温プローブの先端に触れますと、ケガの原因になります。



禁止

ディスプレイは、先の尖ったものや、硬いもので押さないこと

ディスプレイを破損しますと、漏電、感電の原因になります。



除菌

芯温プローブを使用する場合、使用する前にアルコールで除菌すること

芯温プローブを除菌せずに食材に差し込みますと、食材内で菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



禁止

急速冷却中または急速冷凍中、頻繁に扉の開閉を繰り返さないこと

冷却または冷凍効果が発揮できず調理が不十分となり、健康障害の原因および食材の品質低下の原因になります。

⚠ 警告



禁止

庫内ファンモーター部分に、なるべく水分が付かないようにして清掃すること

庫内ファンモーターは、防沫構造*で、万一水がかかっても安心ですが、経年劣化で保護材が劣化し防水性能が悪くなることがあります。その場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

*防沫構造…いかなる方向からの飛沫を受けても有害な影響のない構造。



プラグ抜く

お手入れのときや、点検のときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと

漏電、ショート、感電の原因になります。
誤って操作部に触れて、庫内ファンが回転した場合、ケガの原因になります。



プラグ抜く

庫内のファンカバーを取り外すときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと

庫内ファンが回っている場合、または誤って操作部に触れて庫内ファンが回った場合、ケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。
庫内や機械内部からの水漏れの原因にもなります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

電気の配線に不備があると、感電、火災の原因になります。
給水や排水の配管に不備があると、周囲を濡らす原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

本機は可燃性冷媒ガスを使用していますので、廃棄の際に専門業者やお買上げ店に可燃性冷媒ガスを使用していることを伝えてください。
放置せずに、速やかに専門業者やお買上げ店に渡してください。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



周囲空ける

本機は、隣接面から後面は100mm以上離すこと

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。

⚠ 注意



防水処置

水などをこぼしてもよい所に据え付けること

使用中、扉を開けたとき、扉に付着した水などが床に落ちます。
ドレンパンからあふれ出た水などが床面などを濡らすことがあります。
濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下した場合、ケガの原因になります。
水がこぼれて機械内部に入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



排水点検

始業時に、排水ホースに詰まりがないか、点検をおこなうこと

排水ホースが詰まると、排水がスムーズにおこなわれず、庫内から水などがあふれ出た場合、周囲を濡らす原因になります。



挿入禁止

庫内ファンが回転しているときは、ファンカバーの隙間から、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。
庫内ファンや箸、スプーンなどが破損し、食材などに入った場合、異物混入の原因になります。



指挟まない

扉や空気吸い込み口カバーを閉めるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



禁止

扉にぶら下がったり、乗ったりしないこと

製品が転倒した場合、ケガの原因になります。



お手入れ

ご使用後は、庫内の清掃をおこなうこと

雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



接触禁止

庫内温度が0℃以下のときは、庫内各部位に直接触れないこと

庫内に直接触れた場合、皮膚が引っついてケガの原因になります。
低温やけどの原因にもなります。

⚠ 注意



接触禁止

庫内の蒸発器フィンに直接触れないこと
蒸発器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



接触禁止

凝縮器フィンに直接触れないこと
凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



ゴム手袋

ファンカバーの取り付け、取り外しする際は、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
素手でおこないますと、ケガをする原因になります。



ゴム手袋

庫内を洗浄するときや、凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
庫内ファンや蒸発器などの部品に直接触れますと、ケガの原因になります。
とくに、蒸発器フィンや凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使って庫内や蒸発器を洗浄した後は、洗剤成分が残らないように水で十分にすすぎをおこな
い乾燥させること
洗剤で清掃した各部品は、洗剤成分をきれいに拭き取ること
洗剤成分が残っていると、食材に混入し、健康障害の原因になります。



アルコール除菌

庫内は清掃後、必ずアルコール除菌をおこない、アルコール除菌後は十分に乾燥させること
乾燥させないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



開放禁止

長時間使用しないときは、庫内を完全に乾燥させてから扉を閉めておくこと
庫内が乾燥していないとカビの発生の原因になります。
扉を開け放しておくと、庫内に虫などが入り込む原因になります。



開放禁止

お手入れのときや、デフロスト（霜取り）のとき以外、ドレンキャップを長時間取外ししておか
ないこと
庫内が乾燥していないとカビの発生の原因になります。
庫内に虫などが入り込む原因になります。



洗浄乾燥

食材を入れるホテルパンなど直接食材に触れるものは、ご使用後、洗浄剤を使って洗浄したあと、
十分乾燥させること
食材が付着していたり、水分が残っていたりしますと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



排水

1回の冷却、または冷凍サイクルの終了後は、ドレンパンに溜まった水などを捨てること
ドレンパンに溜まった水を捨てないと、ドレンパンから水があふれ出て床面を濡らしたり、ドレン
パン内で雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



プラグ抜く

ご使用後は、安全のためコンセントから電源プラグを抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。

⚠ 注意



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

お願い

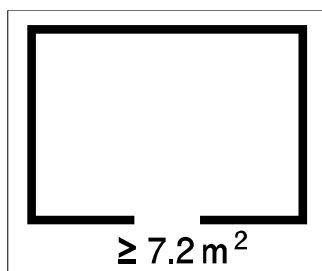
本機前面下部にあります空気吸い込み口や、背面下部の吹き出し部には障害物で塞がないでください。

本機内部に熱がこもりやすくなり、冷却不良の原因になります。

故障の原因にもなります。

本機の設置床面積は、本機に貼付しています「最小設置面積」に従って、 7.2m^2 以上設けてください。

設置面積が 7.2m^2 に満たない場合、故障の原因になります。



本機の庫内の霜取りをおこなうときは、本機の霜取り機能以外の手段で霜取りをおこなわないでください。

機械や器具、工具などを使用されますと、故障の原因になります。

本機の庫内で、電気器具などは使用しないでください。

故障の原因になります。

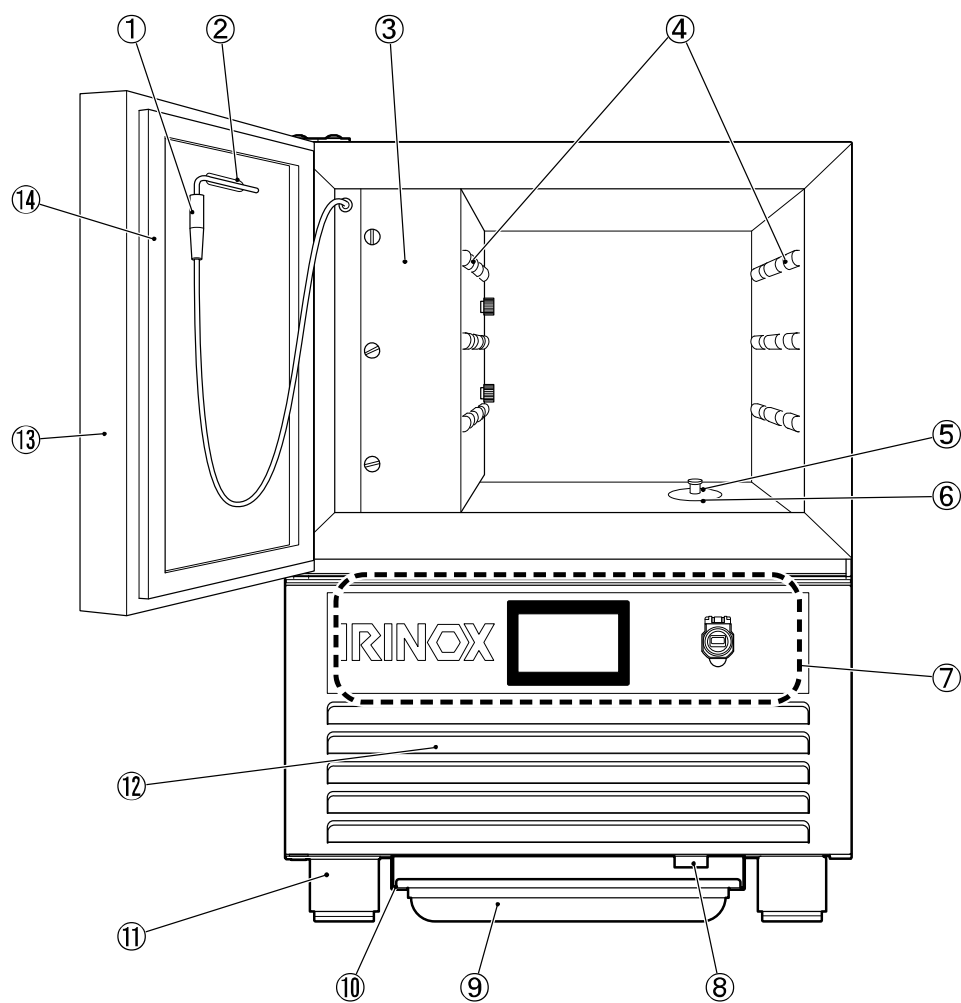
本機の庫内で、食材に直接塩をかけないでください。

本機の庫内は、ご使用後、洗浄、清掃をおこなって清潔な状態にしてください。

各部の名称

本機は、食材を冷却、または冷凍する機械です。

本体



①芯温プローブ

食材の芯温（中心温度）を設定した芯温になるまで冷却、または冷凍するときに使用します。

②芯温プローブホルダー

内部にマグネットが入っていて、芯温プローブの先端部分を固定することができます。

③ファンカバー

庫内ファンと、蒸発器フィンを保護するカバーです。
付属の専用グリッドを乗せる棚が付いています。

④棚

食材を入れたホテルパンを乗せます。

⑤ドレンキャップ

庫内の底に溜まった水などを排水口から流し落とすときに取り外します。

⑥排水口

庫内の底に溜まった水などをここから、ドレンパイプを通して、本機下部のドレンパンに流し落とします。

⑦操作パネル部

冷却または冷凍の選択、デフロスト（霜取り）の選択、設定の変更などをおこないます。
「操作パネル部」（10ページ）を参照してください。

⑧ドレンパイプ

庫内底の排水口から流れ落ちた水などがここを通過します。

⑨ドレンパン

庫内底の排水口から流れ落ち、ドレンパイプを通った水などを受け止めます。

⑩ドレンパン取付けブラケット

ドレンパンは、本機の使用時にこのブラケットに乗せます。

⑪アジャスト脚

本機を水平にするときに調節します。

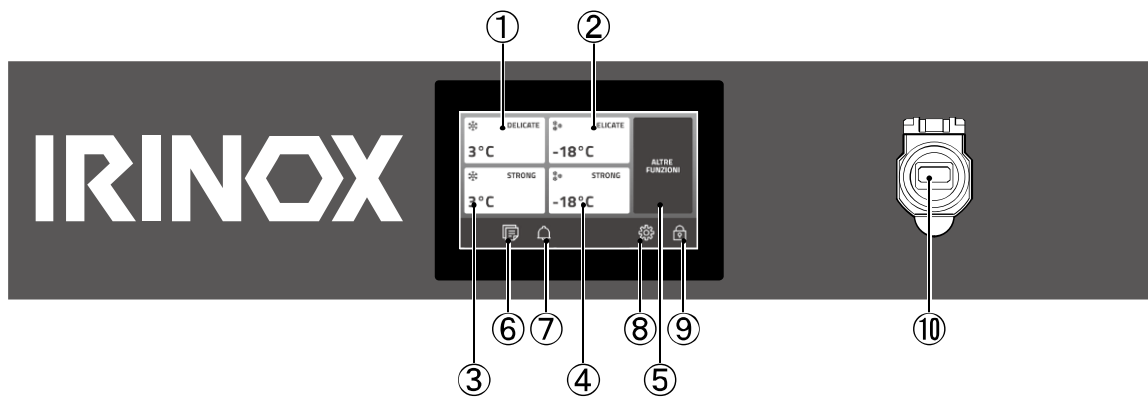
⑫空気吸い込み口カバー

凝縮器を保護しています。
空気吸い込み口カバーの内側には、凝縮器フィルターがあります。

⑬扉

⑭扉パッキン

操作パネル部



①『デリケート 3℃』アイコン

0℃で急速冷却をおこなった後、2℃（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で冷却保存します。

②『デリケート -18℃』アイコン

0℃で冷却をおこなった後、-35℃で急速冷凍をおこない、その後、-20℃（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

③『ストロング 3℃』アイコン

-15℃で急速冷却をおこなった後、-7℃、0℃で冷却をおこない、2℃（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で冷却保存します。

④『ストロング -18℃』アイコン

-35℃で急速冷凍をおこなった後、-20℃（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

⑤『その他の機能』アイコン

デフロスト（霜取り）、ノンストップサイクル、保持サイクルができます。

⑥『』アイコン

ライブラリーの画面が表示されます。

⑦『』アイコン

アラームコードを確認することができます。

⑧『』アイコン

設定変更のモードに入るときに使用します。
本機の日時設定や温度単位の設定変更、HACCPデータの取出し、削除などをおこなうことができます。

⑨『』アイコン

ロック画面に切替わります。

⑩USBポート

本機内に記録されたサイクル中のHACCPデータなどをUSBメモリにコピーするとき
に使用します。
USBメモリは、お客様にてご用意ください。

操作手順

お願い

初めて本機をお使いになる場合は、「お手入れ」（39 ページ）を参照して庫内のお手入れをおこなってください。

電源を入れる

本機専用コンセントに、電源プラグを挿し込んでください

約10秒後、本機のディスプレイに「Easy Fresh® NEXT」が表示されます。



更に約10秒後、ホーム画面が表示されます。



本機に異常がある場合、ディスプレイにアラームコードが表示されます。

アラームコードが表示された場合は、「アラームコード」（62ページ）を参照してください。

本機の電源を切る場合は、設備側のコンセントから本機の電源プラグを抜いてください。

標準のサイクルについて

ホーム画面に表示されている標準のサイクルの動作は以下のようになっています。

「デリケート 3℃」（デリケートチリングサイクル）

メモ

設定値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは異なります。

「マニュアル」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-7℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：1時間30分、庫内温度0℃で冷却
- 保存：2℃で保冷

「自動」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-7℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：食材の芯温が3℃になるまで庫内温度0℃で冷却
- 保存：2℃で保冷

「ストロング 3℃」（ストロングチリングサイクル）

メモ

設定値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは異なります。

「マニュアル」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-7℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：30分間、庫内温度-15℃で冷却
- フェーズ2：30分間、庫内温度-7℃で冷却
- フェーズ3：30分間、庫内温度0℃で冷却
- 保存：2℃で保冷

「自動」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-7℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：食材の芯温が30℃になるまで庫内温度-15℃で冷却
- フェーズ2：食材の芯温が15℃になるまで庫内温度-7℃で冷却
- フェーズ3：食材の芯温が3℃になるまで庫内温度0℃で冷却
- 保存：2℃で保冷

「デリケート -18℃」（デリケートフリージングサイクル）

メモ

設定値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは異なります。

「マニュアル」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-7℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：30分間、庫内温度0℃で冷却
- フェーズ2：3時間30分、庫内温度-35℃で冷却
- 保存：-20℃で保冷

「自動」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-7℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：食材の芯温が+15℃になるまで庫内温度0℃で冷却
- フェーズ2：食材の芯温が-18℃になるまで庫内温度-35℃で冷却
- 保存：-20℃で保冷

お願い

設定は-40℃まで設定できますが、-35℃より低い温度に設定しないでください。

「ストロング -18℃」（ストロングフリージングサイクル）

メモ

設定値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは異なります。

「マニュアル」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-15℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：4時間、庫内温度-35℃で冷却
- 保存：-20℃で保冷

「自動」の標準動作

- 予冷：庫内温度が-15℃になるまで冷却 → 庫内に食材を投入
- フェーズ1：食材の芯温が-18℃になるまで庫内温度-35℃で冷却
- 保存：-20℃で保冷

お願い

設定は-40℃まで設定できますが、-35℃より低い温度に設定しないでください。

食材を「自動」で冷却、または冷凍する（芯温プローブを使う）


芯温プローブを使用すると、食材の芯温が設定した温度になるまで冷却、または冷凍をおこないます。食材を適温で冷却、冷凍したい場合にお使いいただくと便利です。

1. ホーム画面を表示させてください



メモ

ディスプレイがスリープ(表示が消えている)状態になっている場合は、ディスプレイをタップすると、ロック画面が表示されます。

ロック画面が表示されている場合は、画面下の『』アイコンをタップすると、ホーム画面が表示されます。



右のような画面が表示されている場合は、現在、サイクルの動作中であることを表しています。

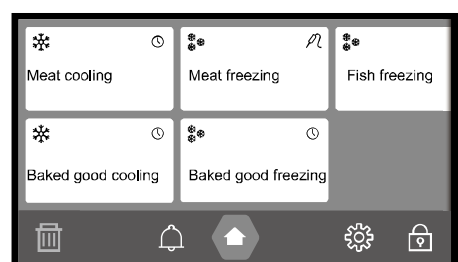


メモ

ライブラリー画面には、ユーザーがカスタムした、または作成したサイクルのアイコンを登録することができます。

右の画面は、ライブラリー画面にサイクルのアイコンが貼付された状態です。

ライブラリーに、サイクルを登録する方法については、「サイクルの編集と保存」(26ページ)を参照してください。



2. 本機の扉を閉めてください

お願い

この段階では、庫内に食材を入れないでください。
サイクルを開始すると、庫内を調理に最適な温度にするための予冷がおこなわれます。

3. お好みのサイクルアイコンを押してください

各サイクルの詳細については、「標準のサイクルについて」（12ページ）を参照してください。

「マニュアル」、「自動」の選択画面が表示されます。



お願い

冷凍のサイクルが終了した後、保存に切り替わり、庫内は-20°Cに保たれますが、この状態のまま本機を常時「保存庫」として使用しないでください。

蒸発器の表面が過度に霜におおわれて、冷却効果が十分に発揮できなくなります。

4. 『自動』アイコンをタップしてください

芯温プローブを使って庫内冷却温度と、サイクルの時間を制御して、自動で冷却、または冷凍サイクルをおこないます。

「マニュアル」は、庫内冷却温度と、設定した時間で冷却、または冷凍サイクルをおこないます。

冷却、または冷凍サイクルの確認画面が表示されます。



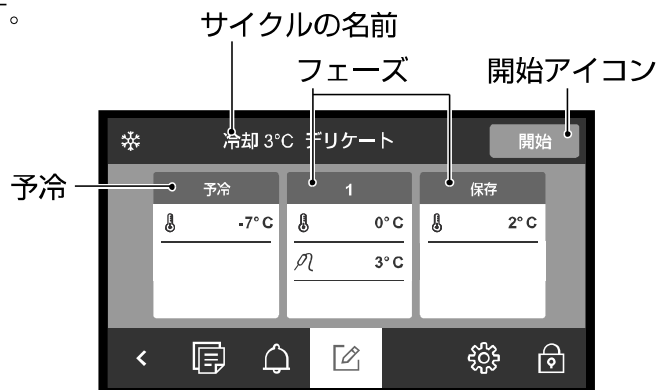
5. 表示されているサイクルの内容を確認してください

サイクルの内容（各フェーズ）が表示されます。

メモ

サイクルの内容を変更することができます。

サイクルの内容を変更する方法については、「サイクルの編集と保存」（26ページ）を参照してください。



6. サイクルを開始してください

お願い

本機の扉が開いていると、冷却または冷凍サイクルを開始しても機械は動作しません。
ディスプレイにアラーム「ドアオープンアラーム (A28)」が表示されます。

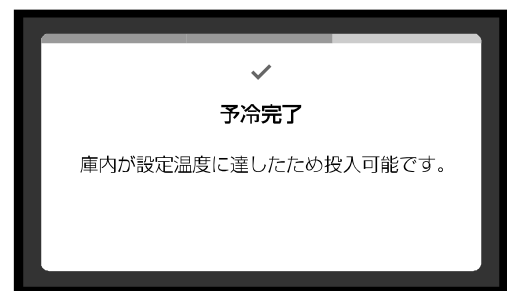
画面右上にある『開始』アイコンをタップしてサイクルを開始してください。
予冷が開始されます。



予冷が完了すると、右のような画面が表示されます。

メモ

この画面は、扉を開閉するまで表示されます。
扉を開閉するまでは次のフェーズ1には切り替わりません。
このタイミングで、食材を庫内に入れてください。
予冷中に扉を開閉すると、予冷をスキップします。



7. 食材を庫内に入れてください

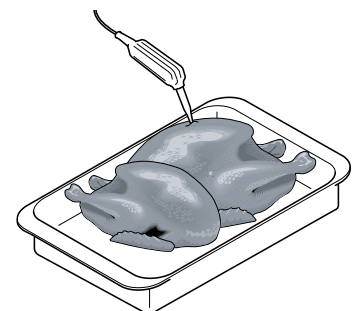
お願い

飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で冷却、または冷凍をおこなわないでください。
庫内奥にある蒸発器フィンや庫内ファンに付着して故障の原因になります。

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンや天板を乗せてください。
食材をより効率よく冷却、または冷凍するには、「庫内への食材の入れかた」(24ページ)を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

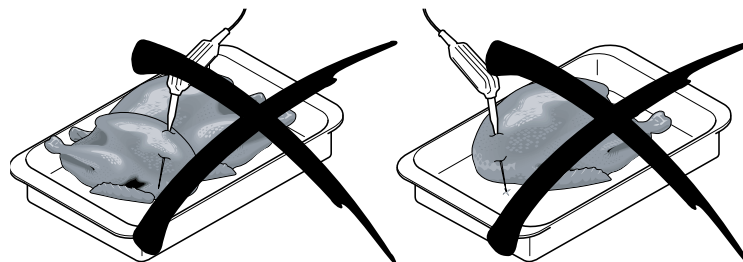
芯温プローブを食材に刺し込んでください。

扉の芯温プローブ取付け部から芯温プローブを取り外し、芯温プローブの先端部を食材に差し込んでください。
芯温プローブは、先端部分ができるかぎり食材の中心部にくるように刺し込んでください。



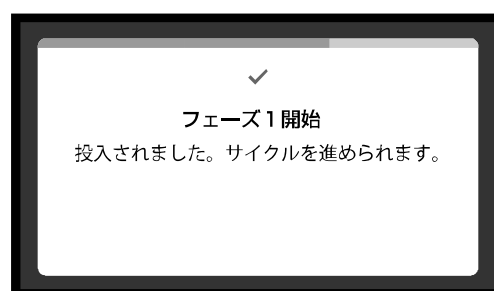
お願い

芯温プローブの先端が食材を貫通した状態、またはホテルパンに当たった状態にしないでください。
芯温プローブの先端が食材の中央に刺し込まれていないと、食材の正しい温度をはかることができません。



8. 本機の扉を閉めてください

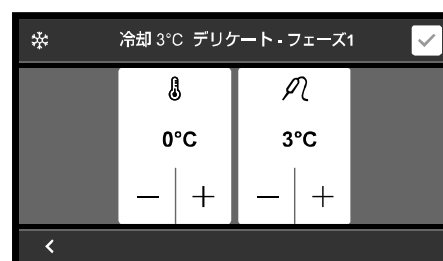
扉を閉めると、右のような画面が表示されます。
5秒間経過すると、フェーズ1に切り替わり、順に各フェーズの動作をおこないます。



メモ

サイクルの動作中でも、フェーズの設定内容を変更することができます。
フェーズの設定内容を変更する場合は、変更したいフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

変更したい値の『-』または『+』をタップしてお好みの値に変えて『☒』をタップして設定変更の画面を閉じてください。



「保存」以外の全てのフェーズの動作が完了すると、「サイクル完了」のメッセージが表示されます。

『続行する』アイコンをタップしてください。

「保存」が開始されます。

「保存」は『停止』アイコンをタップして止めるまでおこなわれます。



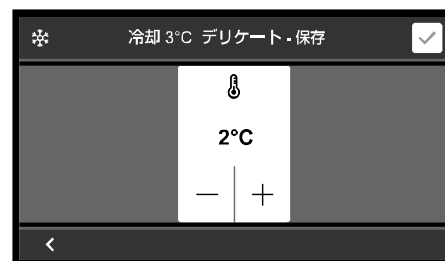
画面左上に表示されている値は、現在の庫内温度です。
画面左中央に表示されている値は、現在の食材の芯温です。



メモ

サイクル動作中でも「保存」は、設定温度を変更することができます。
設定温度を変更する場合は、「保存」のフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

『-』または『+』をタップしてお好みの温度に変え、
『☒』をタップして設定変更の画面を閉じてください。
温度の値が変わっていることを確認してください。



9. 「保存」を停止する場合は『停止』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



『ダッシュボード』

ホーム画面に戻ります。

『HACCP』

サイクルのHACCPデータを機械内部のメモリに記録します。

「HACCPデータにサイクルの詳細を設定する」
(37ページ) を参照してください。



10. 食材から芯温プローブを抜いて、食材を取り出してください

扉を開け、食材から芯温プローブを抜き取ってください。

芯温プローブは、扉内側にある芯温プローブ取付け部に取り付けてください。

お願い

必ず先に食材に刺し込んだ芯温プローブを抜いてからホテルパンを取り出してください。

芯温プローブを食材から抜かずにホテルパンを庫内から出すと、芯温プローブの配線を損傷する恐れがあります。

食材を入れたホテルパンを庫内から取り出してください。

食材を「マニュアル」で冷却、または冷凍する(芯温プローブを使わない)


食材を設定した時間になるまで冷却、または冷凍をおこないます。

1. ホーム画面を表示させてください



メモ

ディスプレイがスリープ(表示が消えている)状態になっている場合は、ディスプレイをタップすると、ロック画面が表示されます。

ロック画面が表示されている場合は、画面下の『』アイコンをタップすると、ホーム画面が表示されます。



右のような画面が表示されている場合は、現在、サイクルの動作中であることを表しています。

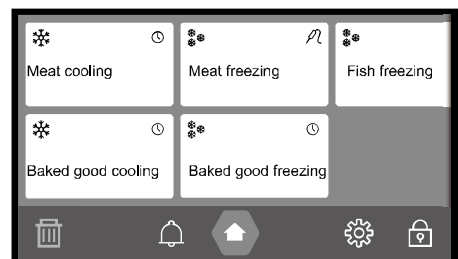


メモ

ライブラリー画面には、ユーザーがカスタムした、または作成したサイクルのアイコンを登録することができます。

右の画面は、ライブラリー画面にサイクルのアイコンが貼付された状態です。

ライブラリーに、サイクルを登録する方法については、「サイクルの編集と保存」(26ページ)を参照してください。



2. 本機の扉を閉めてください

お願い

この段階では、庫内に食材を入れないでください。
サイクルを開始すると、庫内を調理に最適な温度にするための予冷がおこなわれます。

3. お好みのサイクルアイコンを押してください

各サイクルの詳細については、「標準のサイクルについて」（12ページ）を参照してください。

「マニュアル」、「自動」の選択画面が表示されます。



お願い

冷凍のサイクルが終了した後、保存に切り替わり、庫内は-20°Cに保たれますが、この状態のまま本機を常時「保存庫」として使用しないでください。

蒸発器表面が過度に霜におおわれて、冷却効果が十分に発揮できなくなります。

4. 『マニュアル』アイコンをタップしてください

庫内冷却温度と、設定した時間で冷却、または冷凍サイクルをおこないます。

「自動」は、芯温プローブを使って庫内冷却温度と、サイクルの時間を制御して、自動で冷却、または冷凍サイクルをおこないます。



冷却、または冷凍サイクルの確認画面が表示されます。

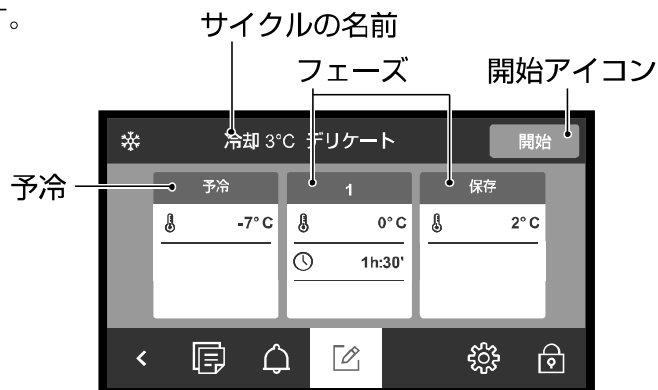
5. 表示されているサイクルの内容を確認してください

サイクルの内容（各フェーズ）が表示されます。

メモ

サイクルの内容を変更することができません。

サイクルの内容を変更する方法については、「サイクルの編集と保存」（26ページ）を参照してください。



6. サイクルを開始してください

お願い

本機の扉が開いていると、冷却、または冷凍サイクルを開始しても機械は動作しません。
ディスプレイにアラーム「ドアオープンアラーム (A28)」が表示されます。

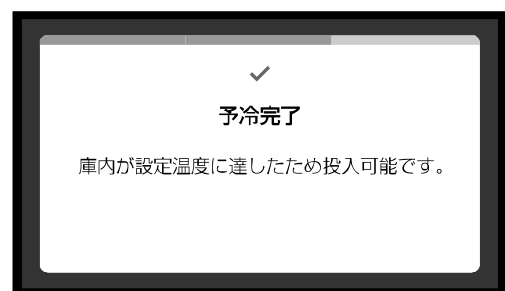
画面右上にある『開始』アイコンをタップしてサイクルを開始してください。
予冷が開始されます。



予冷が完了すると、右のような画面が表示されます。

メモ

この画面は、扉を開閉するまで表示されます。
扉を開閉するまでは次のフェーズ1には切り替わりません。
このタイミングで、食材を庫内に入れてください。
予冷中に扉を開閉すると、予冷をスキップします。



7. 食材を庫内に入れてください

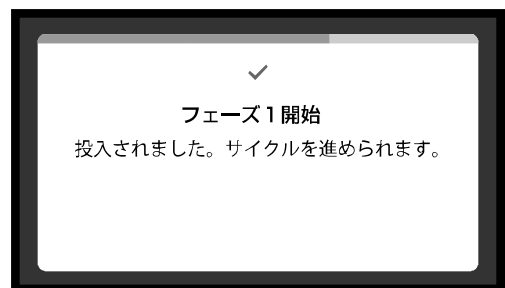
お願い

風で飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で冷却、または冷凍をおこなわないでください。
庫内奥にある蒸発器フィンや庫内ファンに付着して故障の原因になります。

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンや天板を乗せてください。
食材をより効率よく冷却、または冷凍するには、「庫内への食材の入れかた」(24ページ)を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

8. 本機の扉を閉めてください

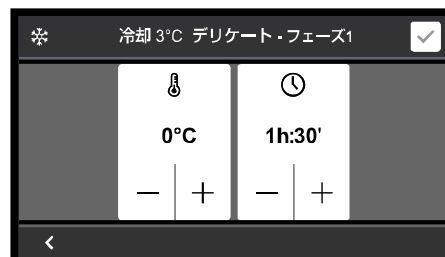
扉を閉めると、右のような画面が表示されます。
5秒間経過すると、フェーズ1に切替わり、順に各フェーズの動作をおこないます。



メモ

サイクルの動作中でも、フェーズの設定内容を変更することができます。
フェーズの設定内容を変更する場合は、変更したいフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

変更したい値の『-』または『+』をタップしてお好みの値に変えて『✓』をタップして設定変更の画面を閉じてください。



「保存」以外の全てのフェーズの動作が完了すると、「サイクル完了」のメッセージが表示されます。

『続行する』アイコンをタップしてください。

「保存」が開始されます。

「保存」は『停止』アイコンをタップして止めるまでおこなわれます。



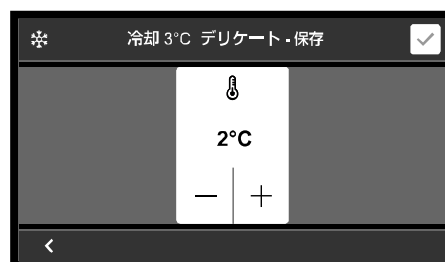
画面左上に表示されている温度は、現在の庫内温度です。



メモ

サイクル動作中でも「保存」は、設定温度を変更することができます。
設定温度を変更する場合は、「保存」のフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

『-』または『+』をタップしてお好みの温度に変え、
『✓』をタップして設定変更の画面を閉じてください。
温度の値が変わっていることを確認してください。



9. 「保存」を停止する場合は『停止』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



『ダッシュボード』

ホーム画面に戻ります。

『HACCP』

サイクルの温度などの情報を機械内部のメモリに記録します。

「HACCPデータにサイクルの詳細を設定する」
(37ページ) を参照してください。



10. 食材を取り出してください

扉を開け、食材を入れたホテルパン、または天板を庫内から取り出してください。

庫内への食材の入れかた

ここでは、食材をより効率よく冷却または冷凍するための庫内への入れかたについて説明します。

庫内に入れる食材の量と温度

庫内に入れる食材の量は、必ず守ってください。

棚一段の食材の量は最大で5kgとして、庫内に入れる最大量は下記のとおりになります。

チリング	フリージング
10kg	10kg

食材の量が多すぎたり、温度が高すぎたりしますと、冷却または冷凍にかかる時間が長くなります。

冷却または冷凍にかかる時間が長くなると、細菌の繁殖の抑制が十分におこなえません。

70℃以上の食材を庫内に入れる場合、冷却サイクルは90分以内に芯温が3℃になるように、冷凍サイクルは4時間以内に芯温が-18℃になるように食材の温度と量を調整してください。

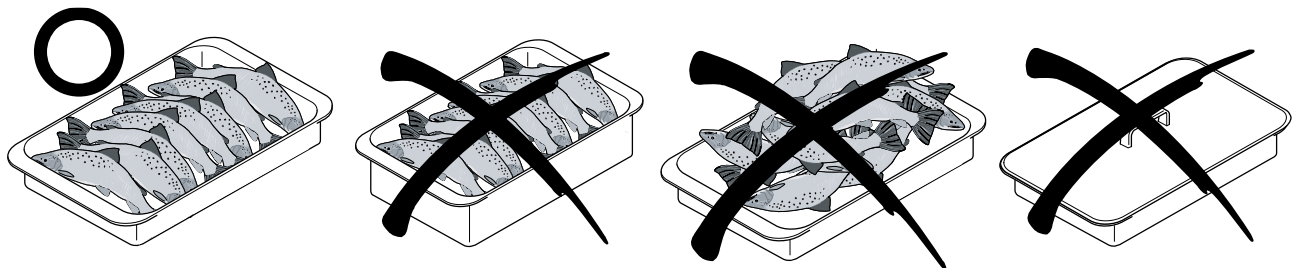
食材をより効率よく冷却または冷凍するためのホテルパンなどへの入れかた

食材をホテルパンなどの容器に入れる場合、底の深いものは使用しないでください。

食材は重ならないようにし、風が当たりやすいように並べてください。

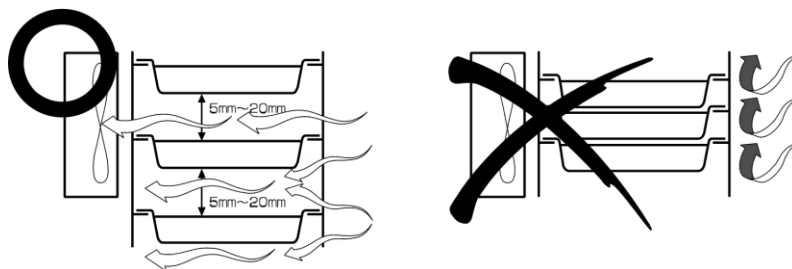
特殊な食材以外は、風の当たりを防ぐような蓋などをかぶせないでください。

食材に蓋をする必要がある場合は、ラップなど冷却や冷凍の妨げになりにくいものを使用してください。

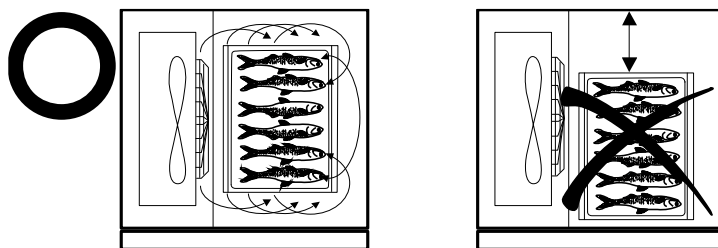


食材を効率よく均等に冷却または冷凍するための庫内への入れかた

食材を入れたホテルパンなどを複数、庫内に入れる場合、食材同士上下の間隔は5mm～20mm程度空けてください。



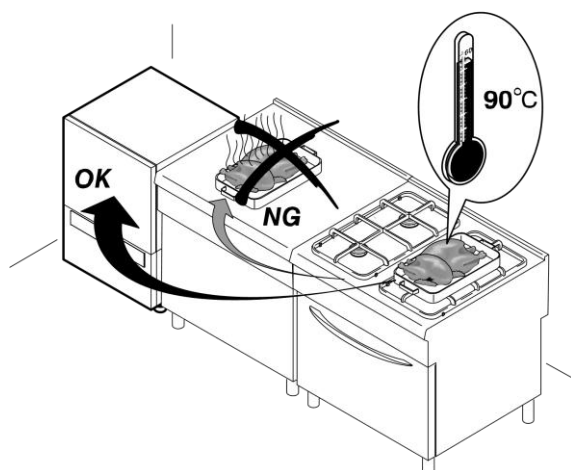
食材は、庫内の前後に対して中央の位置に入れてください。



加熱調理後の食材を庫内に入れて冷却または冷凍する方法

加熱調理後の食材の場合は、あらかじめ庫内を冷やしておいて、加熱調理後の食材を速やかに庫内に入れて、冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなってください。

加熱調理後は食材の水分が蒸発しているため、冷却または冷凍をおこなうまでの時間が空きますと、食材が水分を失うことになり、柔らかさを失う原因になります。



サイクルの編集と保存

サイクルは、内容を編集することができます。

編集したサイクルは、オリジナルのサイクルとしてライブラリーに保存することができます。

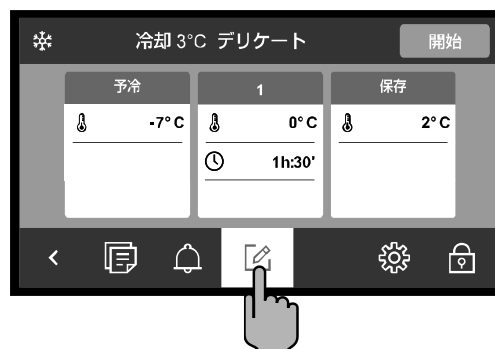
既存のサイクルは、内容を編集しても上書き保存することができませんので、サイクル名を変えてライブラリーに保存してください。

1. サイクルの内容を表示させてください

2. サイクルを編集してください

編集可能状態になります。

右の画面は、標準のサイクル「冷却3℃ デリケート」の画面です。

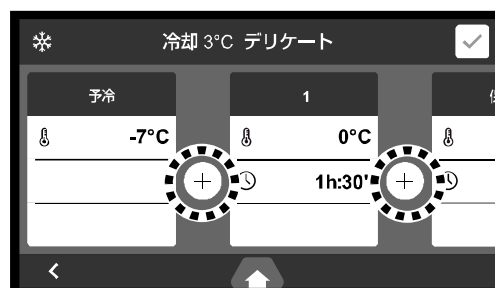


フェーズを追加する場合は、フェーズとフェーズの間にある『**+**』アイコンをタップしてください。

フェーズが追加されます。

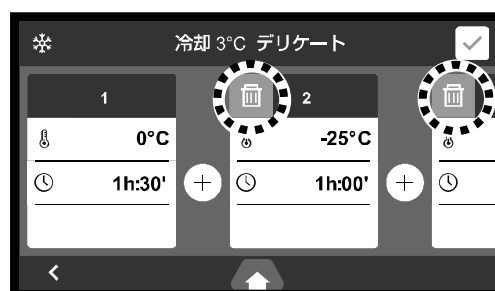
追加されたフェーズには初期設定値が表示されています。

お好みで設定値を変えてください。



フェーズのアイコンの左上に表示されている『ごみ箱』アイコンをタップするとそのフェーズは削除することができます。

ただし、「予冷」、「フェーズ1」、「保存」は削除することができません。



設定ができましたら画面右上の『**✓**』アイコンをタップして編集を確定してください。

注意：まだ、この段階では保存されていません。



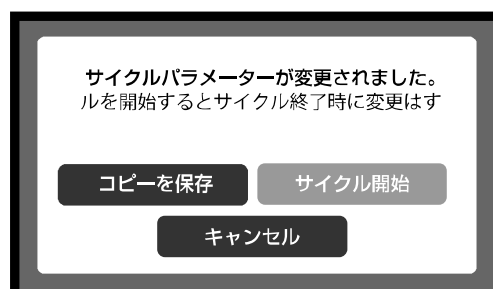
編集した内容を確認してください。

内容に間違いがなければ、画面右上の『開始』アイコンをタップしてください。

選択画面が表示されます。



操作を選択してください。



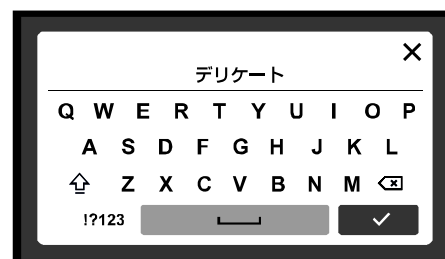
『コピーを保存』

サイクル名入力画面が表示されます。

サイクル名を入力した後、『✓』アイコンをタップしてください。

日本語の入力できません。

ライブラリーに、新しいサイクルとして保存されます。
編集したサイクルの動作が開始されます。



メモ

画面右上の『✕』をタップした場合、編集した内容は保存されません。

『サイクル開始』

編集した内容でサイクルの動作が開始されます。
編集した内容は保存されません。

『キャンセル』

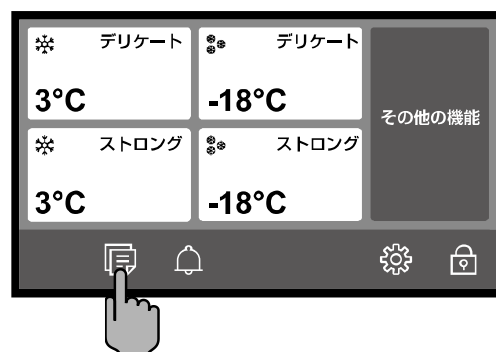
編集の操作がキャンセルされます。

ライブラリー画面のサイクルを削除する

ライブラリー画面のサイクルは、削除することができます。

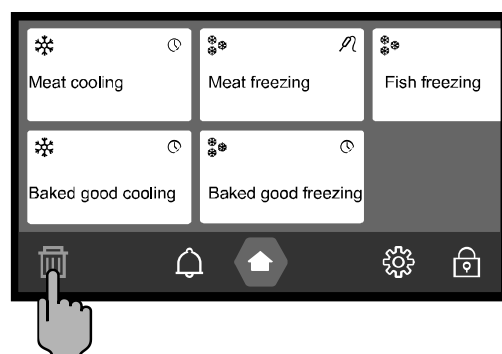
ここでは、ライブラリー画面のサイクルを削除する方法について説明します。

1. 画面下にある『』アイコンをタップしてライブラリー画面を表示させてください



2. 画面左下にある『ごみ箱』アイコンをタップしてください

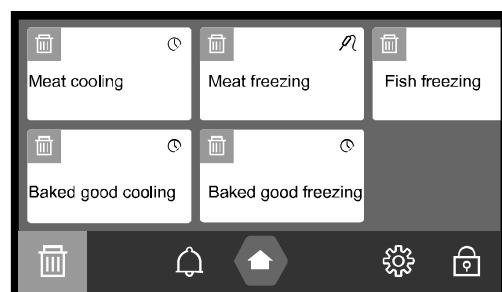
各サイクルのアイコンの左上に『ごみ箱』アイコンが表示されます。



3. アイコンを削除してください

削除したいアイコンの『ごみ箱』アイコンをタップしてください。

削除の確認画面が表示されます。

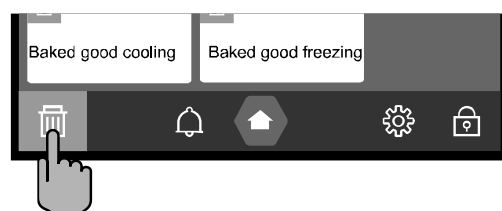


『はい』アイコンをタップすると、ライブラリー画面からサイクルのアイコンが消えます。

削除するアイコンが複数ある場合は、この作業を繰り返しおこなってください。



4. アイコンの削除ができましたら画面左下の『ごみ箱』アイコンをタップして終了してください





その他の機能

「デフロスト」（霜取り）

庫内の蒸発器やファン、温度センサーなどに霜が多量に付着しますと、冷却や冷凍が正常におこなわれなくなります。

デフロスト（霜取り）は、1日の業務終了後におこなってください。

**警告**



庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転しないこと
庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。

1. 本機の扉を開いてください

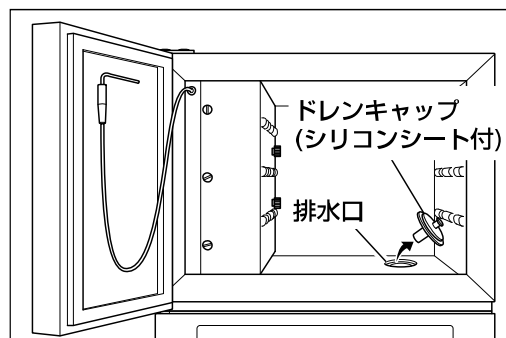
デフロスト（霜取り）中は、本機の扉を開けておいてください。

扉が閉まっている状態で、『開始』アイコンをタップしてもブザーが鳴り、ディスプレイにはアラームコード「クローズドアアラーム(A29)」が表示され、本機はデフロスト（霜取り）を始めません。

2. ドレンキャップ（シリコンシート付）を外してください

庫内底部にある排水口からドレンキャップ（シリコンシート付）を取り外してください。

デフロスト（霜取り）をおこなって、霜が溶けて水になりますと、排水口から本体下部のドレンパンに流れ落ちます。



3. ホーム画面で『その他の機能』アイコンをタップしてください

その他の機能の画面が表示されます。



4. 『デフロスト』アイコンをタップしてください

デフロスト（霜取り）サイクルのフェーズが表示されます。



5. 『開始』アイコンをタップしてください

庫内ファンが回転し、デフロスト（霜取り）のサイクルが始まります。

デフロスト（霜取り）の時間の設定は、変更することができます。

時間の設定変更は、サイクル開始前、動作中でもできます。

設定可能範囲：1分 ～ 10時間（1分刻み）



画面左側に残りの霜取り時間(カウントダウン)が表示されます。



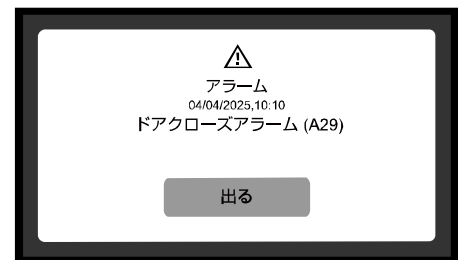
お願い

デフロスト（霜取り）中は、本機の扉を開けておいてください。

デフロスト（霜取り）中、本機の扉を閉めるとデフロスト（霜取り）を中断し、ブザーが鳴ります。

残り時間のカウントダウンも停止し、ディスプレイには「アラーム」「ドアクローズアラーム(A29)」が表示されます。

扉を開けると、デフロスト（霜取り）は、継続しておこなわれます。



デフロスト（霜取り）を途中で止めたいときは、『停止』アイコンをタップしてください。

設定した時間になると、デフロスト（霜取り）を終了し、ディスプレイはホーム画面に戻ります。

6. 庫内の底に残っている水などは、布などで拭き取ってください

7. 庫内の排水口にドレンキャップ（シリコンシート付）を取り付けてください

8. 本機の扉を閉めてください

9. ドレンパンに溜まった水などを捨ててください

本体下部にあるドレンパンを手前に引いて取り外し、溜まっている水などを捨ててください。

ドレンパンは中性洗剤を使って洗浄し、乾いた布で水分を拭き取ってから、本体下部に元通り取り付けてください。

「ノンストップ」(連続)

「ノンストップ」とは、連続で冷却、または冷凍するサイクルです。

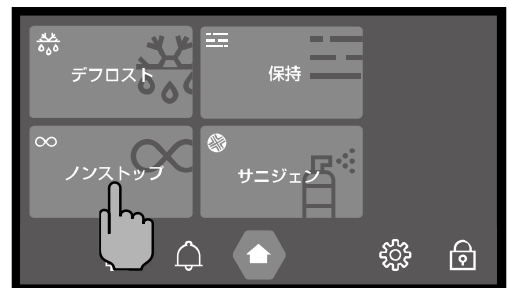
1. ホーム画面で『その他の機能』アイコンをタップしてください

その他の機能の画面が表示されます。



2. 『ノンストップ』アイコンをタップしてください

温度選択の画面が表示されます。



3. 使用する温度のアイコンをタップしてください

サイクルの内容(各フェーズ)が表示されます。



4. サイクルを開始してください

お願い

本機の扉が開いていると、冷却、または冷凍サイクルを開始しても機械は動作しません。

ディスプレイにアラーム「ドアオープンアラーム (A28)」が表示されます。

画面右上にある『開始』アイコンをタップしてサイクルを開始してください。
予冷が開始されます。



メモ

「ノンストップ」は、サイクル経過、または芯温到達の通知設定をすると、サイクル中に設定時間経過時、または設定芯温到達時にアラームでお知らせする機能があります。

通知の設定をする場合は、『通知設定』アイコンをタップしてください。

選択画面が表示されます。



『時間』

設定した時間になるとアラームでお知らせします。

『芯温』

設定した芯温に到達するとアラームでお知らせします。



「時間」の設定画面



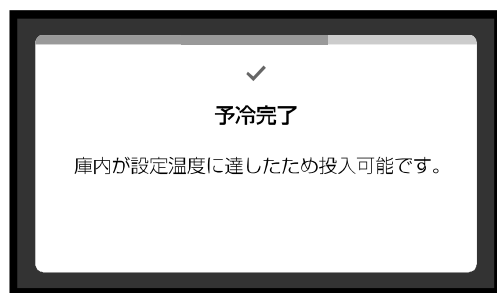
「芯温」の設定画面

設定画面下の『通知の消去』をタップすると、設定した値をリセットすることができます。
画面右上の『☒』アイコンをタップすると設定した値を確定します。

予冷が完了すると、右のような画面が表示されます。

メモ

この画面は、扉を開閉するまで表示されます。
扉を開閉するまでは次のフェーズ1には切り替わりません。
このタイミングで、食材を庫内に入れてください。
予冷中に扉を開閉すると、予冷をスキップします。



5. 食材を庫内に入れてください

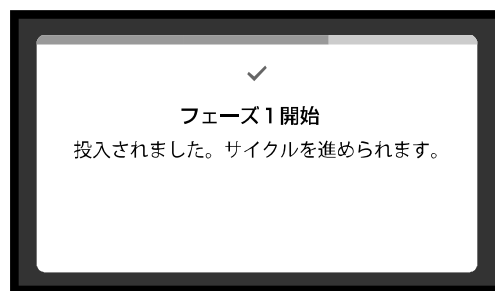
お願い

風で飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で冷却、または冷凍をおこなわないでください。
庫内奥にある蒸発器フィンや庫内ファンに付着して故障の原因になります。

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンや天板を乗せてください。
食材をより効率よく冷却、または冷凍するには、「庫内への食材の入れかた」(24ページ)を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

6. 本機の扉を閉めてください

扉を閉めると、右のような画面が表示されます。
5秒間経過すると、フェーズ1の動作に切替わります。



メモ

サイクルの動作中でも、フェーズの設定内容を変更することができます。
フェーズの設定内容を変更する場合は、変更したいフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

変更したい値の『-』または『+』をタップしてお好みの値に変えて『✓』をタップして設定変更の画面を閉じてください。



7. 「保存」を停止する場合は『停止』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



『ダッシュボード』

ホーム画面に戻ります。

『HACCP』

サイクルの温度などの情報を機械内部のメモリに記録します。

「HACCPデータにサイクルの詳細を設定する」
(37ページ) を参照してください。



8. 食材を取り出してください

扉を開け、食材を入れたホテルパン、または天板を庫内から取り出してください。

「保持」（保存のみ）

「保持」は、保存のみの冷却、または冷凍をおこなうサイクルです。

1. ホーム画面で『その他の機能』アイコンをタップしてください

その他の機能の画面が表示されます。



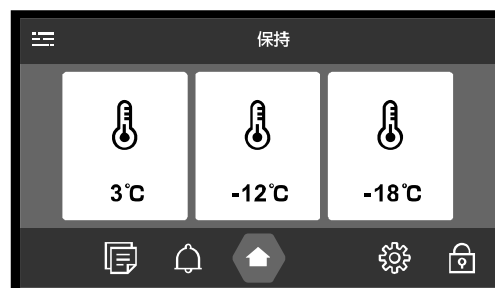
2. 『保持』アイコンをタップしてください

保冷サイクルの選択画面が表示されます。



3. 使用する保冷サイクルをタップしてください

保冷サイクルの動作内容が表示されます。



4. サイクルを開始してください

お願い

本機の扉が開いていると、サイクルを開始しても機械は動作しません。

ディスプレイにアラーム「ドアオープンアラーム (A28)」が表示されます。

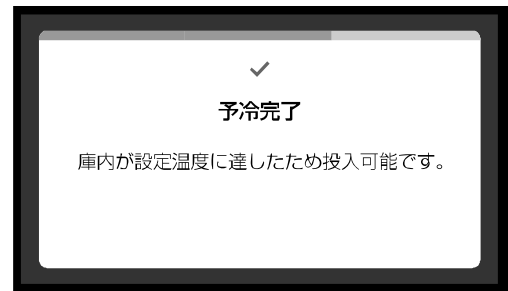
画面右上にある『開始』アイコンをタップしてサイクルを開始してください。
予冷が開始されます。



予冷が完了すると、右のような画面が表示されます。

メモ

この画面は、扉を開閉するまで表示されます。
扉を開閉するまでは次のフェーズ1には切り替わりません。
このタイミングで、食材を庫内に入れてください。
予冷中に扉を開閉すると、予冷をスキップします。



5. 食材を庫内に入れてください

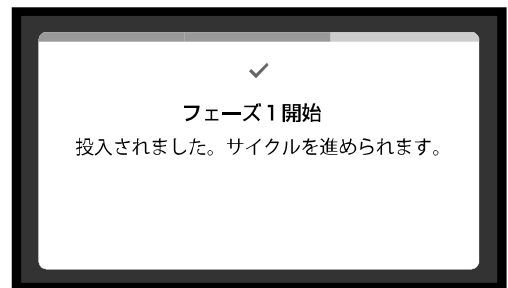
お願い

風で飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で冷却、または冷凍をおこなわないでください。
庫内奥にある蒸発器フィンや庫内ファンに付着して故障の原因になります。

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンや天板を乗せてください。
食材をより効率よく冷却、または冷凍するには、「庫内への食材の入れかた」（24ページ）を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

6. 本機の扉を閉めてください

扉を閉めると、右のような画面が表示されます。
5秒間経過すると、フェーズ1に切り替わり、順に各フェーズの動作をおこないます。



7. 「保持」を停止する場合は『停止』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。

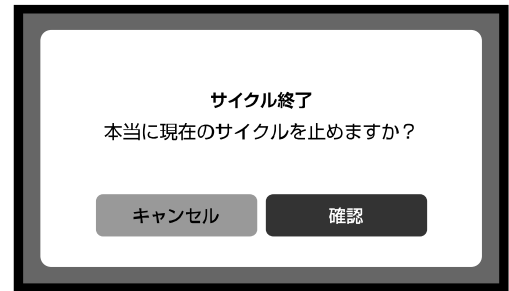


『キャンセル』

保持のサイクルを継続しておこないます。

『確認』

保持のサイクルを終了し、選択画面が表示されます。



『ダッシュボード』

ホーム画面に戻ります。

『HACCP』

サイクルの温度などの情報を機械内部のメモリに記録します。

「HACCPデータにサイクルの詳細を設定する」（37ページ）を参照してください。

HACCPデータにサイクルの詳細を設定する

本機は、サイクル動作中の温度や扉の開閉回数、発生したアラームのアラームコードなどが、HACCPデータとして本機内のメモリに保存することができます。

HACCPデータを本機内のメモリに保存する設定については、「HACCP機能」（58ページ）を参照してください。

サイクル動作終了後、処理した食材の大きさ、食材の重量など、よりサイクルの詳細な情報をHACCPデータに追加で記録することができます。

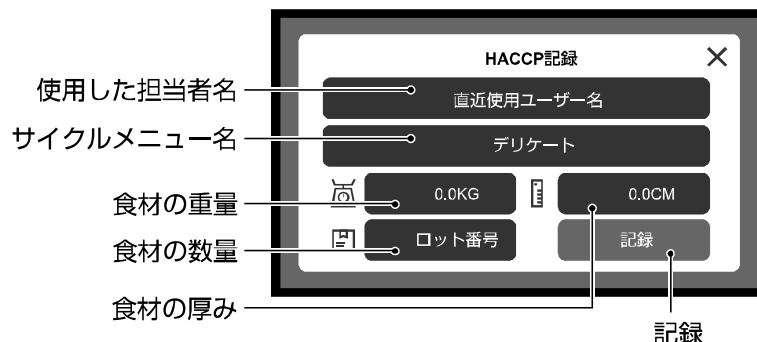
記録するHACCPデータは、作業をおこなった担当者名などで分けて管理することもできます。名前を付けて管理することもできます。

1. サイクル終了後、画面の表示で『HACCP』をタップしてください

「HACCP記録」画面が表示されます。



2. 各情報を入力してください



使用した担当者名

担当者名を変更する場合は、「使用した担当者名」の枠部分をタップして入力画面が表示させ、名前を入力して『✓』をタップして保存してください。

入力は、英数と記号のみになります。

サイクル名

サイクル名を変更する場合は、「サイクル名」の枠部分をタップして入力画面が表示させ、お好みのサイクル名を入力して『✓』をタップして確定してください。

入力は、英数と記号のみになります。

食材の重量

食材の重量を入力する場合は、枠部分をタップして入力画面が表示させ、食材の重量を入力して『✓』をタップして確定してください。

食材の厚み

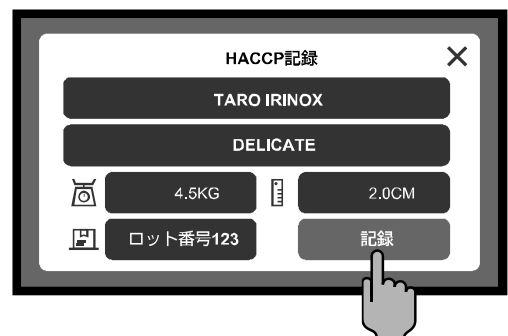
食材の厚みを入力する場合は、枠部分をタップして入力画面が表示させ、食材の厚みを入力して『✓』をタップして確定してください。

食材のロット番号など

食材のロット番号や種類などを入力する場合は、枠部分をタップして入力画面が表示させ、ロット番号や種類などを入力して『✓』をタップして確定してください。

3. 『記録』アイコンをタップして情報を記録してください

確認画面が表示されます。



HACCP記録

TARO IRINOX

DELICATE

4.5KG 2.0CM

ロット番号123 記録

4. 『続行する』アイコンをタップして終了してください

ホーム画面に戻ります。

HACCPへの詳細の追加記録は完了です。



✓

HACCPデータ記録

記録されました。下のボタンを押してサイク

続行する

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、必ず「お手入れ」をおこなってください。

⚠ 警告



庫内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、錆の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

洗剤を使用する際は食器用中性洗剤を使用してください。

洗剤を使用した場合は洗剤成分が残らないように、すすぎ洗いをおこない、乾燥させてください。

十分に乾燥させないと錆および腐食の原因になります。

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

毎日のお手入れ

ここでは使用前、または使用後のお手入れについて説明します。

⚠ 警告



庫内ファンモーター部分に、なるべく水分が付かないようにして清掃すること
庫内ファンモーターは、防沫構造*で、万一水がかかっても安心ですが、経年劣化で保護材が劣化し防水性能が悪くなることがあります。その場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

*防沫構造…いかなる方向からの飛沫を受けても有害な影響のない構造。



お手入れのときや、点検のときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと
漏電、ショート、感電の原因になります。
誤って操作部に触れて、庫内ファンが回転した場合、ケガの原因になります。

庫内のファンカバーを取り外すときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと
庫内ファンが回っている場合、または誤って操作部に触れて庫内ファンが回った場合、ケガの原因になります。

⚠ 注意



庫内の蒸発器フィンに直接触れないこと
蒸発器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



ファンカバーの取り付け、取り外しする際は、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
素手でおこないますと、ケガをする原因になります。

庫内を洗浄するときや、凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと

庫内ファンや蒸発器などの部品に直接触れますと、ケガの原因になります。
とくに、蒸発器フィンや凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。

洗剤を使って庫内や蒸発器を洗浄した後は、洗剤成分が残らないように水で十分すすぎをおこない乾燥させること

洗剤で清掃した各部品は、洗剤成分をきれいに拭き取ること
洗剤成分が残っていると、食材に混入し、健康障害の原因になります。

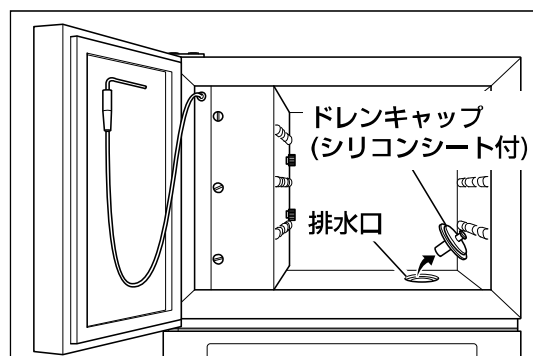
庫内は清掃後、必ずアルコール除菌をおこない、アルコール除菌後は十分に乾燥させること
乾燥させないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

1. 専用コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

2. 庫内底部にある排水口からドレンキャップ（シリコンシート付）を取り外してください

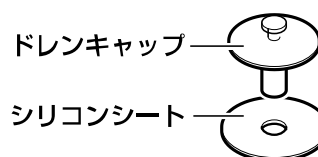
ドレン水などが、排水口より本機下部のドレンパンに流れ落ちます。

ドレンパンが溢れないよう排水量に注意してください。



ドレンキャップからシリコンシートを取り外してください。

ドレンキャップ、シリコンシートをお手持ちの食器用中性洗剤を使用して洗浄し、洗浄後は洗剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。



3. ファンカバーを取り外してください

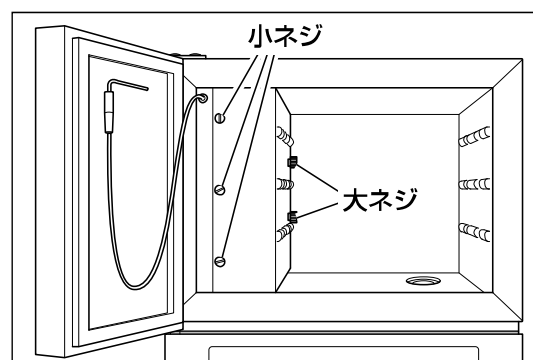
ファンカバーを固定しているネジを取り外してから、ファンカバーを取り外してください。

小ネジ（手前側）…… 3個

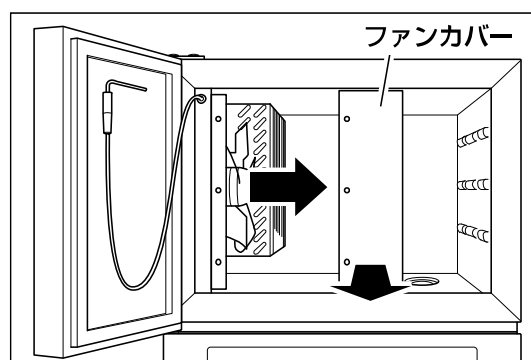
大ネジ（奥側）…… 2個

お願い

小ネジ(手前側)は、1箇所だけ形状が異なります。
本機に付属しているマイナスドライバーを使って外してください。



ファンカバーは、右側にずらしてから、手前に引き取り出してください。



4. 庫内を洗浄してください

お願い

庫内奥の蒸発器は水洗いが可能ですが、手前の庫内ファンには直接、水や洗浄剤をかけないでください。

庫内ファンは、防沫構造になっており、防水ではありません。

庫内奥の蒸発器を、洗剤を使って洗浄する場合は、食器用中性洗剤を使用し、洗浄後は洗剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

蒸発器のフィンはやわらかいブラシを使って洗浄し、ブラシは必ず縦方向に動かしてください。

かたいブラシを使ったり、ブラシを横方向に動かしたりすると、フィンを破損する原因になります。

蒸発器のフィンは、変形、破損しやすいため、物などをぶつけないようにしてください。

蒸発器のフィンが変形、破損すると、冷却不良の原因になります。

ファンカバーとドレンキャップを食器用中性洗剤で洗った後、水で洗剤成分をきれいに洗い流してください。

きれいな乾いた布でファンカバーとドレンキャップに付着した水分を拭き取ってください。

食器用中性洗剤を染み込ませた布やスポンジで、庫内全体、庫内ファン、扉の内側、芯温プローブ（ケーブル部分を含む）、扉パッキン、本体側の扉パッキンを清掃してください。

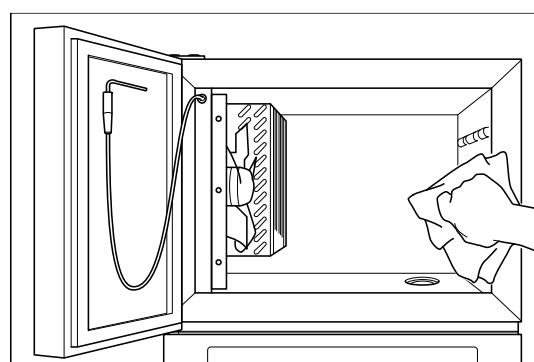
蒸発器は水洗いしてください。

蒸発器のフィンはやわらかいブラシを使って洗浄し、ブラシは必ず縦方向に動かしてください。

洗剤を使って洗浄する場合は、食器用中性洗剤を使用し、洗浄後は洗剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

庫内ファン、扉の内側、芯温プローブ（ケーブル部分を含む）、扉パッキン、本体側の扉パッキンは、すすぎ洗いをしたきれいな布で、洗剤成分をきれいに拭き取ってください。

きれいな乾いた布で庫内に残った水分を拭き取ってください。



各部品をアルコール除菌剤で除菌してください。

ファンカバーを庫内に元どおり取り付けてください。

ファンカバーは、ネジ（大2個、小3個）で固定してください。

お願い

小ネジ(手前側)は、1箇所だけ形状が異なります。

本機に付属しているマイナスドライバーを使って取り付けてください。

5. デフロスト（霜取り）を使って庫内を乾燥させてください

警告



庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転しないこと
庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。

お願い

庫内の洗浄後は、十分乾燥させてください。

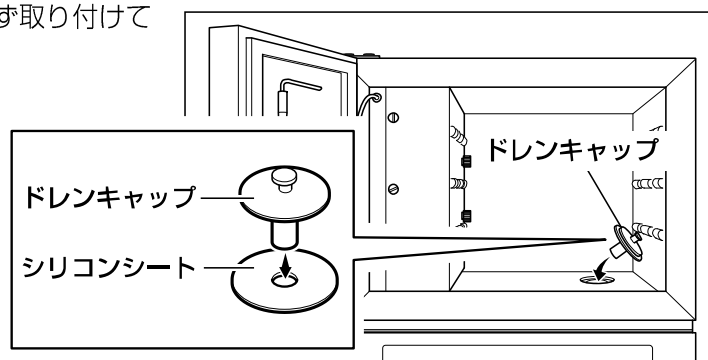
水分が残っていると、カビや錆の原因になります。

本機専用コンセントに電源プラグを挿し込んでください。

「「デフロスト」（霜取り）」（29ページ）を参照してデフロストをおこなってください。

デフロスト（霜取り）のサイクル完了後、庫内底部の排水口にドレンキャップを取り付けてください。

ドレンキャップは、シリコンシートを必ず取り付け
てください。



6. ドレンパンを洗浄してください（ドレンパンをご使用の場合）

本機の下部にあるドレンパンを手前に引いて取り外し、たまった水などを捨ててください。

ドレンパンをお手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でいねいに洗ってください。

ドレンパンをすすぎ洗いをして、付着した洗剤成分を完全に洗い流してください。

ドレンパンに付着している水分を乾いた布で拭き取ってください。

ドレンパンを本機の下部に元通り取り付けてください。

7. 本体外装を清掃してください



警告



庫内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で丁寧に拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

週に1回のお手入れ

ここでは週に一度、使用後におこなっていただくお手入れについて説明します。

⚠ 注意



凝縮器フィンに直接触れないこと
凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



庫内を洗浄するときや、空気吸い込み口カバー内の凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してから洗浄や清掃をおこなうこと
ケガの原因になります。

お願い

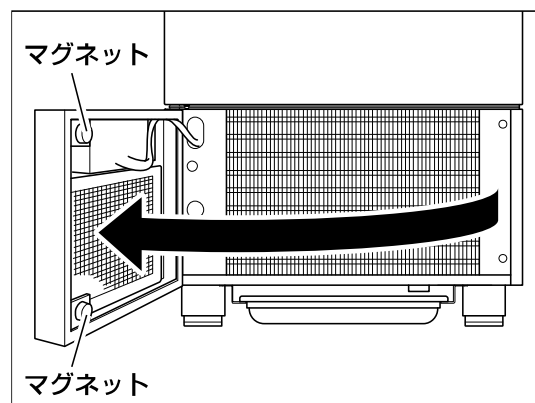
週に一度、使用後に凝縮器フィンの清掃をおこなってください。

本体下部にある凝縮器フィンにゴミやホコリが付着しますと、正常な運転ができなくなり、冷却不良や故障の原因になります。

1. 専用コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

2. 本機前面下部の空気吸い込み口カバーを開けてください

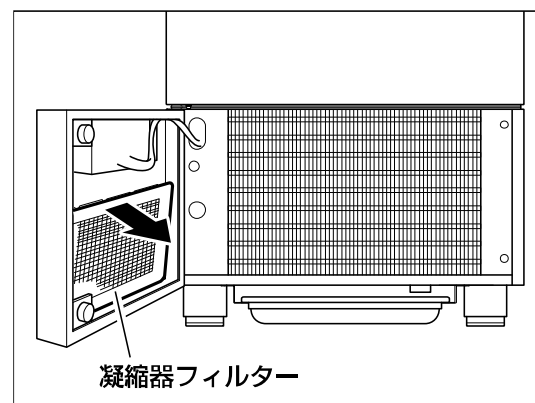
空気吸い込み口カバーは、マグネットで止まっています。



3. 凝縮器フィルターを取り外して洗浄してください

空気吸い込み口カバーの内側に取り付けている凝縮器フィルターを取り外して、水で洗浄してください。

凝縮器フィルターを洗浄した後は、陰干しして完全に乾燥させてください。



4. 凝縮器フィンに付着しているゴミやホコリをお手持ちの毛先のやわらかいブラシを使用してきれいに取り除いてください

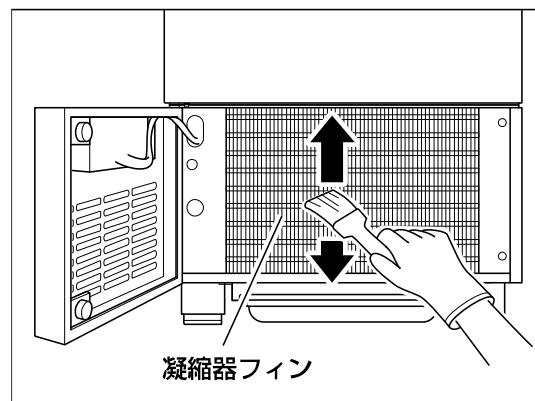
お願い

ブラシは、必ず縦方向に動かしてください。

ブラシを横方向に動かすと、凝縮器フィンを破損する原因になります。

凝縮器フィンは、破損しやすいため、物をぶつけないようにしてください。

凝縮器フィンを破損すると、冷却不良の原因になります。



5. 空気吸い込み口カバーの内側に凝縮器フィルターを元通り取り付けてください

6. 空気吸い込み口カバーを元通り閉めてください

各設定値を変更する

ここでは、表示される言語や日時、表示単位、温度データの記録の設定などを変更するユーザーパラメーターについて説明します。

設定項目

情報

情報には以下の項目があります。

設定項目	設定内容
IO1, HMIファームウェアシステムバージョン	本機の各ファームウェアのバージョンを確認することができます。
IO2, 電源ユニットファームウェアリリース	
IO3, Wi-fiのファームウェアリリース	
IO4, パッケージリリース	

一般

設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
AP01, 会社名	—	設定を変更しないでください。
AP02, ラボ名	—	設定を変更しないでください。
AP03, マシンID	—	設定を変更しないでください。
AP04, 地域	アジア	設定を変更しないでください。
AP05, 国	Japan	設定を変更しないでください。

接続

設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
—	—	—

日時

設定には以下の項目があります。

→ 50ページ

設定項目1	設定項目2	設定内容
日付設定	—	現在の日付に設定してください。 日/月/年 3日以上、本機の電源を『ON(入)』にしないと初期設定の日付に戻ります。
時間設定	—	現在の時刻に設定してください。 時：分 3日以上、本機の電源を『ON(入)』にしないと初期設定の時刻に戻ります。 時間の表示形式を「24h」と「12h」から選択してください。
構成	DT01, 日付書式	「DD/MM/YYYY」と「MM/DD/YYYY」から選択してください。
	DT02, 時間書式	時間の表示形式を「24h」と「12h」から選択してください。
	DT03, タイムゾーン	設定を変更しないでください。

ディスプレイと音

設定には以下の項目があります。

→ 52ページ

設定項目	初期値	設定内容
DP01, 言語	日本語	画面に表示される言語を切り替えることができます。
DP02, 単位	℃	温度、重量、大きさの単位をアメリカの単位に切り替えることができます。℃ ⇄ °F
DP03, バックライト	7	画面の明るさを設定することができます。
DP09, ブザーボリューム	7	操作音、ブザー音の音量を変えることができます。

ユーザー

設定には以下の項目があります。

→ 54ページ

設定項目	初期値	設定内容
US01, パスコードの有効化	NO	YESに切り替えると、ロック画面をパスワードによりロックをかけることができます。
US02, パスコード	0	パスワードを設定することができます。

サイクル

設定には以下の項目があります。

→ 56ページ

設定項目	初期値	設定内容
インポート	—	本機にUSBメモリを接続しているときのみ使用可能。 お手持ちのUSBメモリなどにバックアップとして保存したサイクルを本機にインストールする。
エクスポート	—	本機にUSBメモリを接続しているときのみ使用可能。 お手持ちのUSBメモリなどにサイクルのバックアップを保存する。

サニジェン

設定項目	初期値	設定内容
—	—	—

クラウド

設定項目	値	設定内容
AZ01, アクティベーシ ョンコード	機械毎の コード番号	設定を変更しないでください。 機械毎に割り振る番号です。

コントロール

設定項目	初期値	設定内容
RG02, メイン芯温計	YES	設定を変更しないでください。 標準装備の芯温プローブをYES(使用)、またはNO(使用しない)を設定します。

インプット・アウトプット

設定項目	初期値	設定内容
モニター	—	現在の各設定を一括で確認することができます。

ALARMS (アラーム)

過去のアラームを確認することができます。

HACCP

設定には以下の項目があります。


→ 58ページ

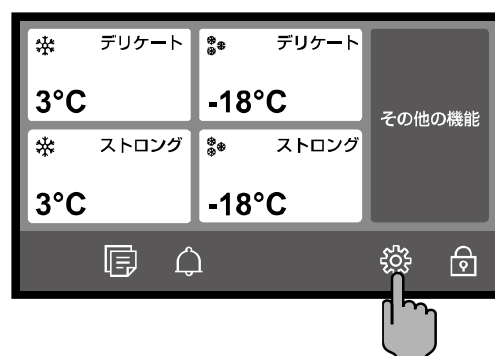
項目1	項目2	初期値	設定内容
構成	HP01, HACCP 有効	「CYCLE AND MAINTENANCE」	サイクル終了後にHACCPデータを本機内のメモリに保存する設定です。 「NONE」：保存しない 「CYCLE」：フェーズのデータのみを保存する 「CYCLE AND MAINTENANCE」： フェーズと「保存」のデータを保存する
	HP02, 周期	1min	上記の「HACCP有効」を「CYCLE」または「CYCLE AND MAINTENANCE」に設定したときのみ設定することができます。
エクスポート	—	—	本機にUSBメモリを接続しているときのみ使用可能。 お手持ちのUSBメモリにHACCPデータやライブラリーに登録したサイクルのバックアップを保存する。
消去	—	—	本機内のメモリに保存されているHACCPデータを消去します。

UPDATE

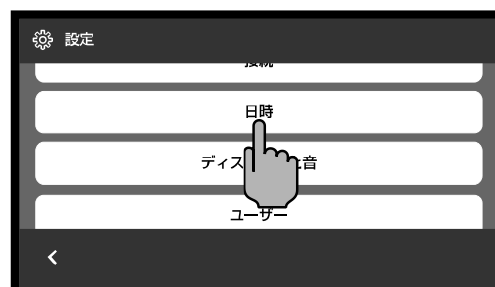
設定項目	初期値	設定内容
—	—	—

日付と時間の設定

1. 『』アイコンをタップしてください
「設定」画面が表示されます。




2. 『日時』をタップしてください
「日時」の画面が表示されます。

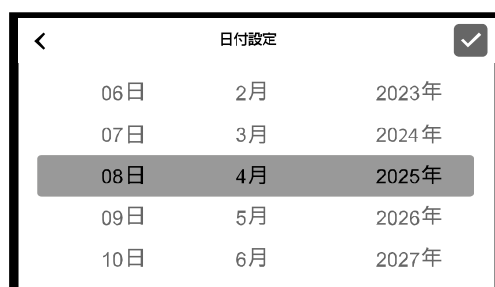


3. 日付、または時間を設定してください




「日付設定」

日付を設定して『』アイコンをタップすると、変更が確定され1つ前の画面に戻ります。



「時間設定」

時間を設定して『』アイコンをタップすると、変更が確定され1つ前の画面に戻ります。

24時間、または12時間表示に切替えることができます。



「日時」

日付の表示書式：

「DD/MM/YYYY」または「MM/DD/YYYY」に切替える

時間の表示書式：

「12H」または「24H」に切替える

タイムゾーン：

本機を使用する地域（国）に設定



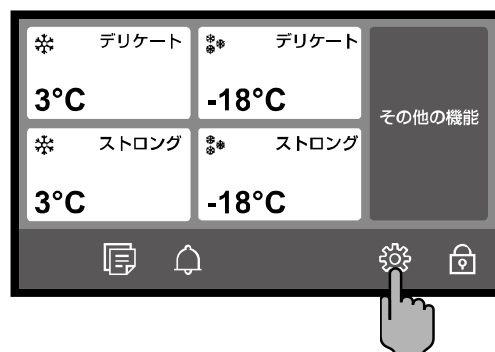
4. ホーム画面に戻ってください

ディスプレイと音の設定

ここでは、表示される言語、温度の単位、画面の明るさ、操作音とブザー音の音量を設定することができます。

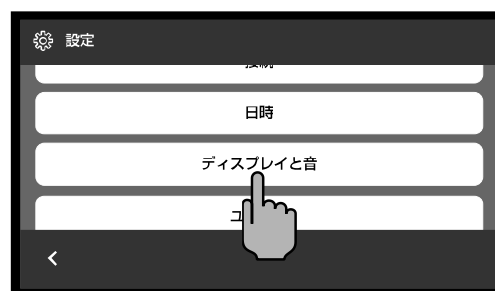
1. 『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。

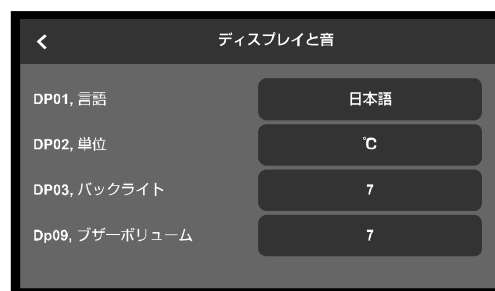


2. 『ディスプレイと音』をタップしてください

「ディスプレイと音」の画面が表示されます。

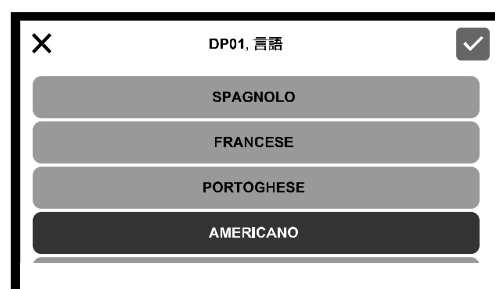


3. 設定を変更してください



「言語」（言語の表示切替え）

画面に表示する言語を切替えることができます。



「単位」 （単位表示の切替え）

温度の単位を℃（摂氏）、または°F（華氏）に切替えることができます。

「バックライト」 （画面の明るさ設定）

画面の明るさを変えることができます。

設定範囲：0(OFF)、1 ～ 7

数値が高い程明るくなります。

CLR	1	2	3	<X>
	4	5	6	
	7	8	9	
	+/-	0	.	

「ブザーボリューム」 （操作音、ブザー音の音量設定）

操作音、ブザー音の音量を変えることができます。

設定範囲：0(OFF)、1 ～ 7

数値が高い程音が大きくなります。

CLR	1	2	3	<X>
	4	5	6	
	7	8	9	
	+/-	0	.	

4. ホーム画面に戻ってください

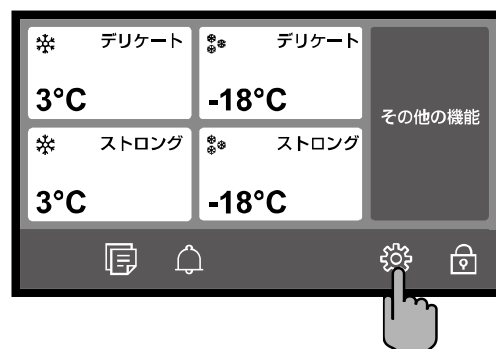
ロック機能の設定

ロック機能は、パスコードを設定して、パスコードを知っている人以外が、設定画面に入ることを防ぐための機能です。

ここでは、ロック機能の設定のしかたについて説明します。

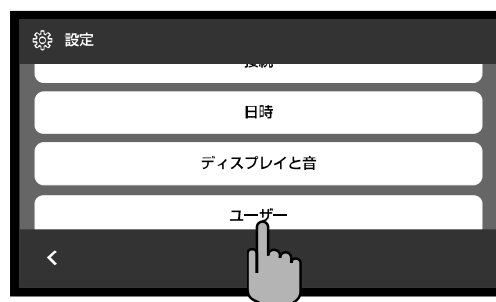
1. 『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。

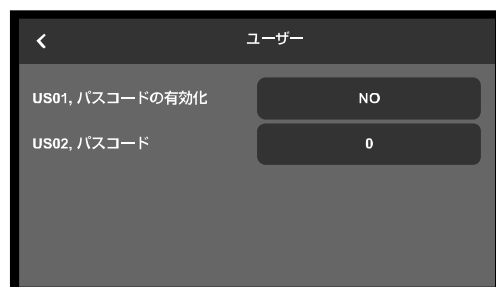


2. 『ユーザー』をタップしてください

「ユーザー」の画面が表示されます。



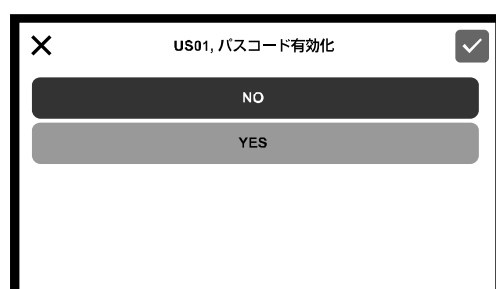
3. ロック機能を設定してください



「US01, パスコードの有効化」

「NO」 : ロック機能OFF

「YES」 : ロック機能ON



「US02, パスコード」

1000以上の4桁の数字を設定してください。

『』アイコンで確定してください。

×

US02, パスコード

✓


min: 1000


max: 9999

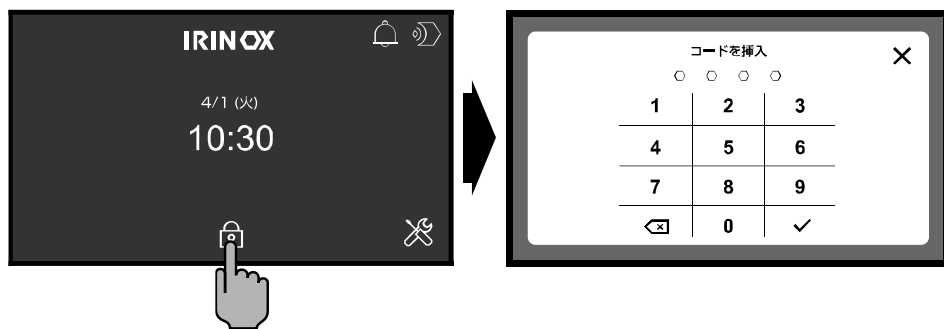
9999

CLR	1	2	3	
	4	5	6	
	7	8	9	
	+/-	0	.	

4. ホーム画面に戻ってください

ロック機能が設定されると、ロック画面で画面下の『』アイコンをタップしたときに、コードを入力する画面が表示されます。

コードを入力して『』をタップすると、ロックが解除されて画面の操作が可能になります。



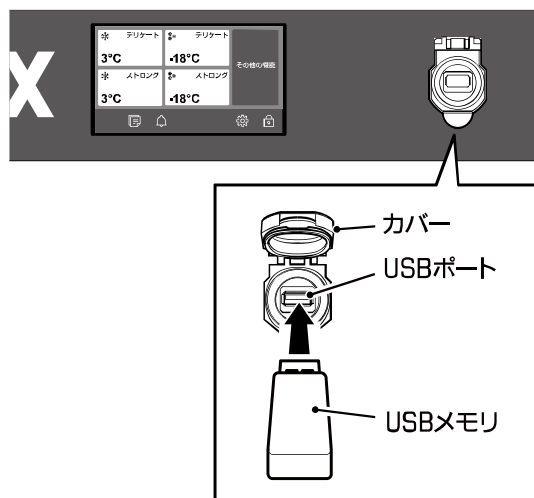
サイクルのバックアップとインストール


ライブラリーに保存されているオリジナルのサイクルは、お手持ちのUSBメモリにバックアップコピーを取ることができます。

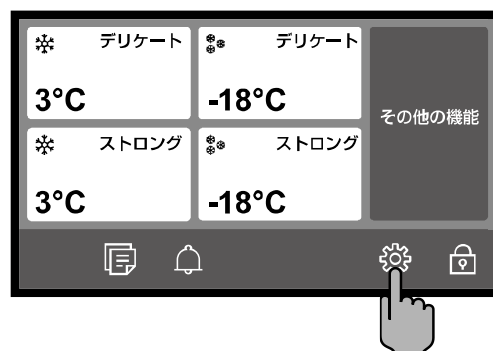
お手持ちのUSBメモリにコピーされた、オリジナルのサイクルは、本機内にインストールすることもできます。

ここでは、オリジナルのサイクルのバックアップとインストールの方法について説明します。

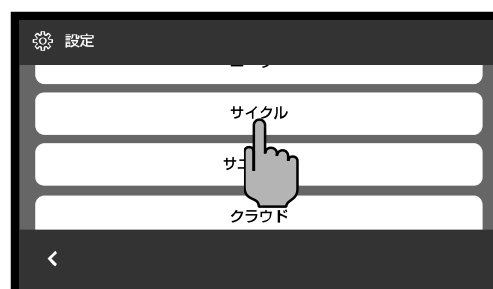
1. USBポートのカバーを開けて、USBポートにお手持ちのUSBメモリを接続してください



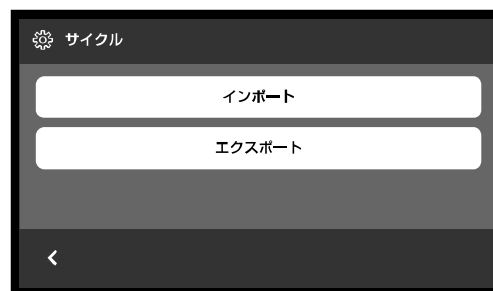
2. 『』アイコンをタップしてください
「設定」画面が表示されます。



3. 『サイクル』をタップしてください
「サイクル」の画面が表示されます。



4. バックアップコピー、またはインストールをおこなってください



『インポート』

お手持ちのUSBメモリにされたオリジナルのサイクルを本機内にインストールします。

『インポート』アイコンをタップしてください。

サイクルのバックアップコピーが開始されます。

お願い

インストール中は、USBメモリをUSBポートから取り外さないでください。

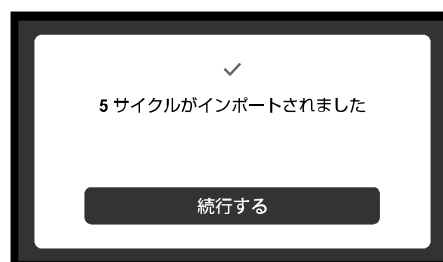
インストール中にUSBメモリを取り外すと、データが壊れる恐れがあります。



インストールが無事に完了すると右のような画面が表示されます。

『続行する』アイコンをタップして終了してください。

USBポートからUSBメモリを取り外してUSBポートのカバーを閉めてください。



『エクスポート』

ライブラリーに保存されているオリジナルのサイクルをお手持ちのUSBメモリにバックアップコピーを取ることができます。

『エクスポート』アイコンをタップしてください。

サイクルのバックアップコピーが開始されます。

お願い

コピー中は、USBメモリをUSBポートから取り外さないでください。

コピー中にUSBメモリを取り外すと、データが壊れる恐れがあります。



コピーが無事に完了すると右のような画面が表示されます。

『続行する』アイコンをタップして終了してください。

USBポートからUSBメモリを取り外してUSBポートのカバーを閉めてください。



5. ホーム画面に戻ってください

HACCP機能

HACCP機能を使用すると、HACCPデータを本機内のメモリに記録することができます。

本機内に記録されたHACCPデータは、削除することができます。

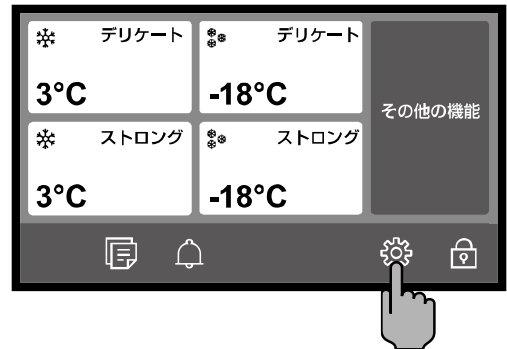
本機内に記録されたHACCPデータは、お手持ちのUSBメモリにコピーすることもできます。

USBメモリにコピーしたHACCPデータは、パソコンで内容を確認することができます

ここでは、HACCP機能の操作について説明します。

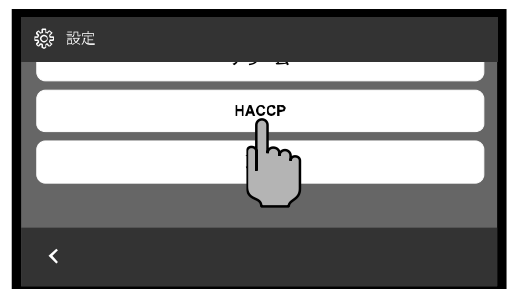
1. 『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。



2. 『HACCP』をタップしてください

「HACCP」の画面が表示されます。



3. HACCP機能を設定してください



『構成』

HACCPデータの記録の設定をします。

「HACCP有効化」 HACCPデータ記録の設定

「NONE」：記録しない

「CYCLE」：冷却動作部分のみ記録

「CYCLE AND MAINTENANCE」：
冷却動作と保冷部分を記録



「期間」記録の時間間隔

設定可能範囲 1分 ～ 60分

『エクスポート』

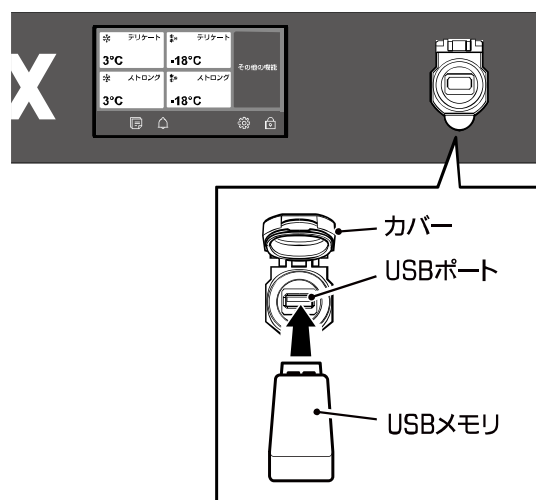
お願い

HACCPデータをお手持ちのUSBメモリにコピーするには、「HACCP」画面での「エクスポート」の後、続けて「サイクル」画面での「エクスポート」をおこなってください。

「HACCP」画面での「エクスポート」の操作だけでは、HACCPデータはコピーされません。

記録されたHACCPデータをお手持ちのUSBメモリにコピーすることができます。

USBポートのカバーを開けて、USBポートにお手持ちのUSBメモリを接続してください。



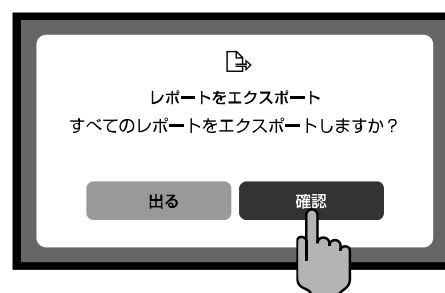
『確認』 アイコンをタップしてください。

HACCPデータのコピーが開始されます。

お願い

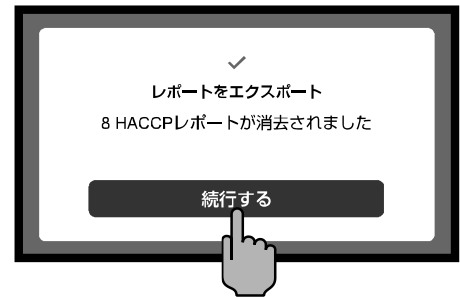
コピー中は、USBメモリをUSBポートから取り外さないでください。

コピー中にUSBメモリを取り外すと、データが壊れる恐れがあります。



コピーが無事に完了すると右のような画面が表示されます。

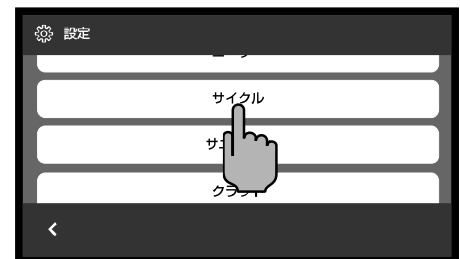
『続行する』アイコンをタップして終了してください。



『<』をタップして「設定」の画面に戻ってください。



『サイクル』をタップして、「サイクル」の画面を表示させてください。



『エクスポート』アイコンをタップして、サイクルのパックアップコピーをおこなってください。

お願い

コピー中は、USB メモリを USB ポートから取り外さないでください。

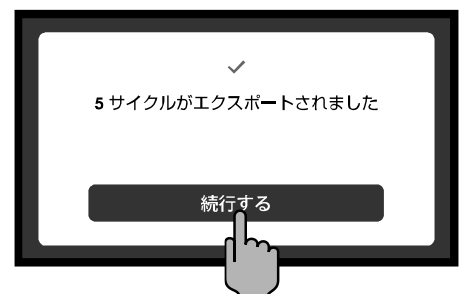
コピー中にUSBメモリを取り外すと、データが壊れる恐れがあります。



コピーが無事に完了すると右のような画面が表示されます。

『続行する』アイコンをタップして終了してください。

USBポートからUSBメモリを取り外してUSBポートのカバーを閉めてください。



USBメモリに新しくフォルダが作成されています。そのフォルダの中に「cycles」と「haccps」の2種類のフォルダが入っています。

「cycles」フォルダ → オリジナルのサイクルデータが入っています。

「haccps」フォルダ → HACCPデータが入っています。

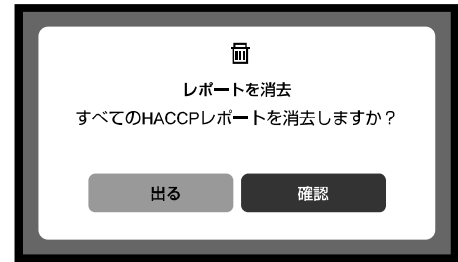
USBメモリにコピーしたHACCPデータは「CSV」形式ですので、パソコンで内容を確認することができます。

『消去』

記録されているHACCPデータを削除します。

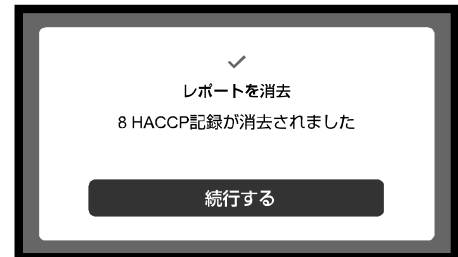
『出る』：削除の操作をキャンセル

『確認』：HACCPデータを削除



削除が完了すると右のような画面が表示されます。

『続行する』アイコンをタップして終了してください。



4. ホーム画面に戻ってください

アラームコード

アラームコードについて

本機は、異常が発生した場合、ディスプレイにアラームコードが表示され、アラーム音が鳴ります。ディスプレイにアラームコードが表示された場合は、下記表を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、コンセントから本機の電源コード抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の際は、本機の型式名、機番、お買上げ日、アラームコード、機械の状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

アラームコード	主な原因	手当
A04	内蔵バッテリーの寿命	お買上げ店へ連絡してください。
A05	サイクル動作中に設備側の電源に障害が発生した	備側の本機専用ブレーカに問題がないか確認してください。お買上げ店へ連絡してください。
A10	庫内温度センサー「RV1」の故障	お買上げ店へ連絡してください。
A11	凝縮器1の温度センサー「RV8.1」の故障	お買上げ店へ連絡してください。
A12	凝縮器2の温度センサー「RV8.2」の故障	お買上げ店へ連絡してください。
A13	芯温プローブとドアとの接続不良	芯温プローブをドアに接続しているネジが緩んでいないか確認し、緩んでいる場合は締め付けてください。
	芯温プローブの故障	お買上げ店へ連絡してください。
	芯温プローブとドアとの接続箇所にサビがある	
	芯温プローブが破損している	
A28	冷却、冷凍サイクル中にドアが開いていた	冷却、冷凍サイクル中はドアを閉めてください。
	ドアのマイクロスイッチの故障	お買上げ店へ連絡してください。
A29	デフロストサイクル中にドアが閉まっていた	デフロストサイクル中はドアを開けておいてください。
A30	過電圧、または過電流により安全サーモスタットがはたらいた	設備側の本機専用ブレーカに問題がないか確認してください。
	安全サーモスタットが破線している	お買上げ店へ連絡してください。

アラーム コード	主な原因	手当
A30	凝縮器のファンが作動していない	お買い上げ店へ連絡してください。
	凝縮器フィルターにホコリなどが多量に付着している	「週に 1 回のお手入れ」(44 ページ)を参照して凝縮器フィルターを洗浄してください。
	凝縮器 1 の温度プローブ「RV8.1」(NTC タイプ)が作動した	本機の周囲温度が 43℃を超えていないか確認して、43℃を超えている場合は、本機の設置場所を変えてください。
	凝縮器 1 の温度プローブ「RV8.1」(NTC タイプ)の故障	お買い上げ店へ連絡してください。
A31	凝縮器のファンが作動していない	お買い上げ店へ連絡してください。
	凝縮器フィルターにホコリなどが多量に付着している	「週に 1 回のお手入れ」(44 ページ)を参照して凝縮器フィルターを洗浄してください。
	凝縮器 2 の温度プローブ「RV8.2」(NTC タイプ)が作動した	本機の周囲温度が 43℃を超えていないか確認して、43℃を超えている場合は、本機の設置場所を変えてください。
	凝縮器 2 の温度プローブ「RV8.2」(NTC タイプ)の故障	お買い上げ店へ連絡してください。

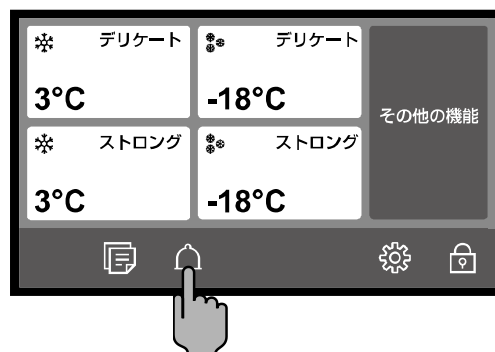
上記以外のアラームコードが表示された場合もお買い上げ店にご連絡ください。

アラームコードの履歴表示の確認

アラームコードが表示された場合、アラームコードの表示履歴として記録されます。
新しくアラームコードの表示履歴が追加記録されると、1番古い表示履歴が削除されます。
ここでは、アラームコードの表示履歴の確認のしかたについて説明します。

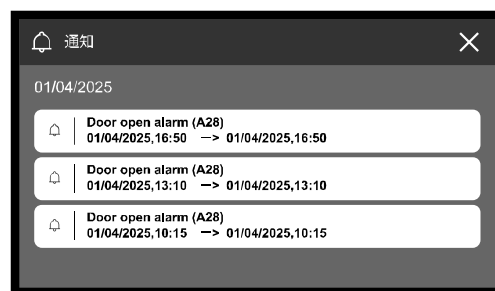
1. ホーム画面、またはロック画面で『🔔』アイコンをタップしてください

アラームコードの表示履歴一覧が表示されます。



2. アラームコードの表示履歴を確認してください

画面は上下にスクロールすることができます。



『✕』をタップすると前の画面に戻ります。

据え付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備の準備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

⚠ 注意



本機は、隣接面から後面は100mm以上離すこと
熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

水などをこぼしてもよい所に据え付けること
使用中、扉を開けたとき、扉に付着した水などが床に落ちます。
ドレンパンからあふれ出た水などが床面などを濡らすことがあります。
濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと
熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。

風通しのよい所へ据え付けてください

湿気の多いところは、機械の寿命を短くしますので避けてください。

直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が30℃を超える高温の場所には据え付けしないでください

30℃を超えた場合、能力を十分に発揮ができない場合があります。
電気部品に影響をおよぼすなどして、故障の原因にもなります。

湿度が高い、高くなる所には、据え付けしないでください

本機を使用する場所の湿度の条件は、55%以下です。

近くに他の冷却装置がある場合、本体外側の結露防止のため30mm以上離して据え付けてください

本機の前面は、操作パネルの操作、扉の開閉、食材の出し入れに支障がない十分なスペースを確保してください

本機の後面は、隣接面から100mm以上離してください

排気口を塞がれますと、機械内部に熱がこもり、冷却不良や故障の原因になります。

振動のない所へ据え付けてください

電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

本機を据付ける場所に近いところに、本機の専用コンセント（交流100V 定格15A以上）を設備してください

電源コードの長さ：約2.5m

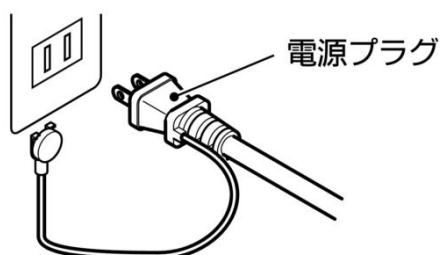
据付け 設置

本機を所定の場所に据付けた後は、アジャスト脚の高さを調節して、本体を水平にしてください

空気吸い込み口のの前には、空気吸い込みの妨げになる物は置かないでください

配線

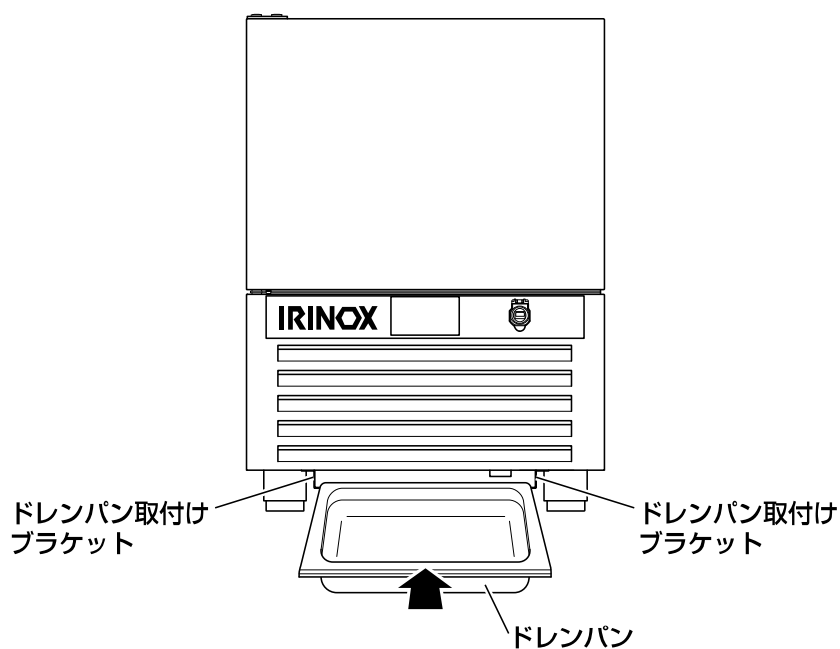
1. アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください
2. ご使用の際は、本機の専用コンセント（交流100V 定格15A以上）に電源プラグを差し込んでください



庫内の排水について

ドレンパンで排水を受ける場合

本体底にあるドレンパン取付けブラケットに、ドレンパンを手前からスライドさせるようにして入れてください。



お願い

庫内に水をかけて洗浄する場合など、一度に大量の排水をおこなうとドレンパンがあふれることがあります。

数度に分けて排水をおこない、その都度ドレンパンに溜まった水などを捨ててください。

排水ホースを接続して設備の排水孔などに排水を流す場合

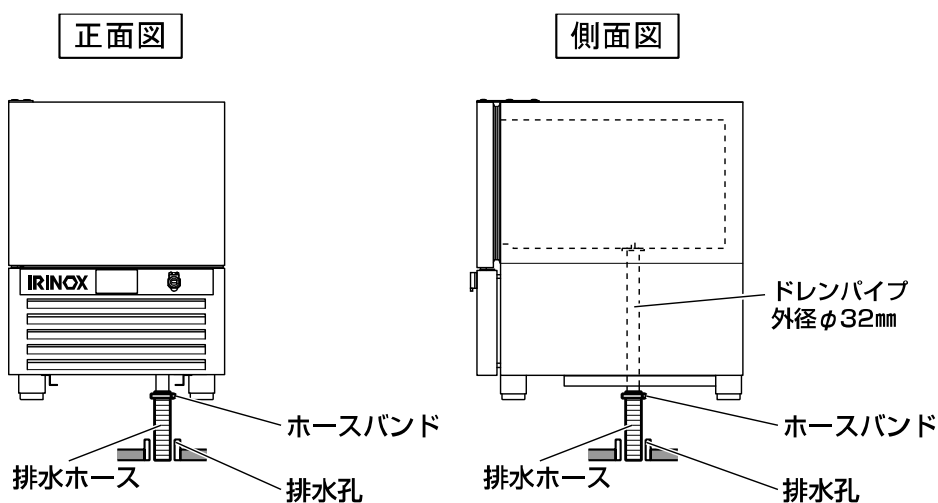
ドレンパンを使わずに、ドレンパイプの先端を本体底より引き出して排水ホースを接続し、排水孔または排水溝に排水を流すこともできます。

排水ホース、排水ホースを固定するためのホースバンドはお客様側でご用意ください。

1. 本機背面のメッシュカバーを取り外し、内部のドレンパイプを下方向へ延ばしてください

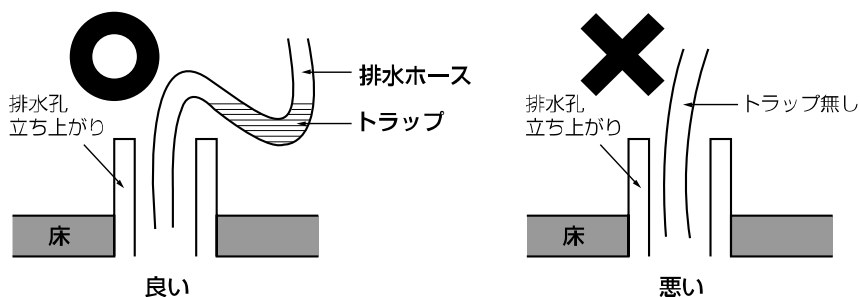
2. ドレンパイプの先に排水ホースを接続してください

ドレンパイプに接続した排水ホースは、抜けないようにホースバンドなどで固定してください。



3. ドレンパイプに接続した排水ホースの先端を排水孔または排水溝に差し込んでください

接続した排水ホースは、排水溝からの臭い対策のため、排水ホースでトラップを作ってから排水孔または排水溝に差し込んでください。



4. 作業終了後は、本機背面にメッシュカバーを元どおりに取り付けてください。

据付後の動作確認

据え付けが終了しましたら、本機が正常に動作するか確認してください。

1. 専用コンセントに本機の電源プラグを挿し込んでください

ホーム画面が表示されるまで待ってください。

2. 冷却をおこなって、動作を確認してください

『デリケート 3℃』アイコンをタップしてください。



『マニュアル』アイコンをタップしてください。



『開始』アイコンをタップしてください。

庫内の予冷が開始されますので、庫内の温度が下がることを確認してください。



3. 『停止』アイコンをタップして機械を止め、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください



これで据付け完了です。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

仕様

品名	ブラストチラー&フリーザー[イリノックス]
型式	EF NEXTR XS
外形寸法	幅 535・奥行 655・高さ 740mm (高さ調整範囲 740～760mm) (扉開時：幅 1045・奥行 1157mm)
電源	100V 50/60Hz
電流	7.7A
消費電力	763W
庫内ファンモーター	15W (冷気循環用)
圧縮器	644W 空冷式
冷媒	R290 150g
タイマー	マニュアル 1フェーズにつき 0h01' ～10h00' (1分～10時間、調整可能)
処理量	チリング : 10kg フリージング : 10kg
本体外装	ステンレス
庫内寸法	幅 328・奥行 548・高さ 300mm (間口を基準にした寸法)
棚間隔	80mmピッチ×3段
収納ホテルパン	GN 1/1 (オプション)
質量	72kg
電源コード	長さ 2.5m

※庫内ファンモーター、圧縮機は、出力表示です。
※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

マイナスドライバー	1 本 (庫内のファンカバーのネジ用)
グリッド	2 枚
取扱説明書 (本書)	1 冊
保証書	1 部

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

パッキン類	凝縮器フィルター	—
-------	----------	---

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛 岡：〒020-0124 盛岡市盛川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>